SONY

4-273-939-**02**(1)

デジタルHDビデオカメラレコーダー

取扱説明書

AVCHD HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

MEMORY STICK™ InfoLITHIUM V SERIES SDXC CLASS4

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

NXCAM

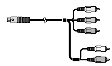
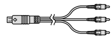
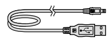
HXR-NX70J

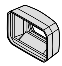
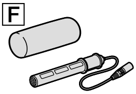
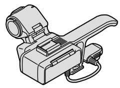
使用前に必ずお読みください

付属品を確かめましょう

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。(　)内は個数。

- □ ACアダプター(1)
- □ 電源コード(1)
- □ コンポーネントA/Vケーブル(1) A
- □ A/V接続ケーブル(1) B
- □ USBケーブル(1) C
- □ USBアダプターケーブル(1) D
- □ レンズカバー付きフード(1) E
  - 取り付け方は、14ページをご覧ください。
- □ ウインドスクリーン(1)、マイク(ECM-XM1)(1) F
- □ XLRアダプター(1) G
- □ 大型アイカップ(1) H
- □ ワイヤレスリモコン(1)
- □ リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70(1)
- □ CD-ROM「Content Management Utility」(1)
- □ CD-ROM「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)
- □ 取扱説明書(2)
- □ 保証書(1)
- □ ソニー業務用商品相談窓口のご案内(1)

A

B

C

D

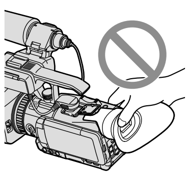
E

F

G

H


- 本機で使えるメモリーカードについては、27ページをご覧ください。

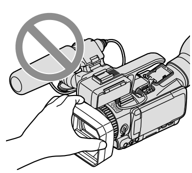
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。

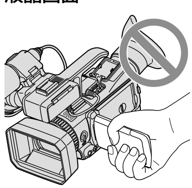
ファインダー



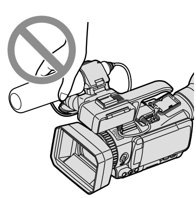
レンズカバー付きフード



液晶画面



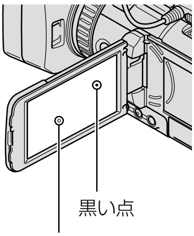
マイク



- 本機は防塵、防滴仕様です。本機の取り扱いについては、6ページをご覧ください。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについて

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影・再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



黒い点

白や、赤、青、緑の点

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします（57ページ）。フォーマットすると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことは出来ません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 本機はご利用になる場所の規則に従ってお使いください。
- 撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
  - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える（特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合）。
  - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます（50ページ）。
  - 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質（STD）の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

ハイビジョン画質（HD）で記録したDVDについて

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。パソコンで保存するには73ページ、他機で保存するには64ページをご覧ください。
- ［REC Mode］で選ばれている設定によっては、保存できないディスクがあります。［60p Quality PS］にして撮影した動画は、外付けメディアのみに保存できます（66ページ）。［Highest Quality FX］にして撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます（69ページ）。

バッテリー・電源アダプターについて

- バッテリーやACアダプターは、電源を切ってから取り外してください。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取り外してください。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます（107ページ）。

パソコンやアクセサリーなどとの接続について

- パソコンから本機の記録メディアをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機の電源が入っている状態でUSB接続しているときに、本機の電源を切らないでください。記録した映像が失われる場合があります。

画像が正しく記録・再生されないときは［Format］してください

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、［Format］（57ページ）を行ってください。

別売りのアクセサリーについて

- ソニー純正アクセサリーの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

本書の表記、イラスト、画面表示について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。また、本機のイラストや画面表示は、わかりやすくするために誇張、省略されています。
- 本書では、内蔵メモリーとメモリーカードを「記録メディア」といいます。
- 本書では、ハイビジョン画質（HD）で保存したDVDディスクを「AVCHD記録ディスク」と表現しています。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

取扱い上のご注意

- 本機で次のことをすると、記録メディアが壊れたり、記録した映像が再生できなくなったり、失われたりする場合があります。また、本機の故障の原因になります。
  - ACCESSランプ（28ページ）が点灯、点滅中にメモリーカードを取り出す
  - 本機の 🎞（動画）ランプ/📷（静止画）ランプ（31、32ページ）や、ACCESSランプ（28ページ）が点灯、点滅中に本機からバッテリーやACアダプターを取り外したり、本機に衝撃や振動を与える
- ショルダーベルト（別売）を使用中は、本機を物にぶつけないように特に注意してください。

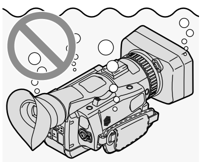
防塵防滴性能について

本体部はJIS/IEC保護等級IP54相当（当社試験方法による）の防塵防滴性能があります。急な雨や砂埃の中でも、内部の動作に影響なくご使用いただけます。

- 防塵性能（IP5x）：有害な影響が発生するほどの粉塵が中に入らない構造です。粉塵が中に入らない耐塵構造ではありません。
- 防滴性能（IPx4）：あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響がない構造です。シャワーや水道などの噴流水に対しては保護されません。
- XLRアダプターやアクセサリーを取り付けたとき、ケーブル類をつないだときは、防塵防滴になりませんので、ほこりや水が入らないようにご注意ください。
- お客様の誤ったご使用方法での故障については、保証対象外となりますので、以下の点を守って正しくご使用ください。

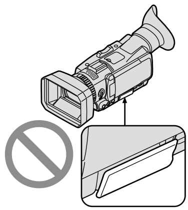
水中で使わない

本機は防水構造になっていないので水中では使用できません。絶対に水につけないでください。



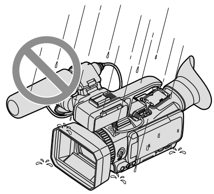
バッテリー蓋や端子カバーをしっかりと閉じる

端子カバーが開いていると内部に水が入る原因になります。



アクセサリーを取り付けたまま、雨や砂埃のかかる場所では使わない。

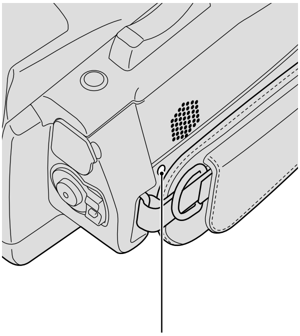
付属のXLRアダプターやACアダプターは防塵防滴構造ではありません。



お手入れについて

- バッテリー蓋や端子カバーのパッキンに砂、髪の毛、ほこりなどが挟まっていると、内部に水が入る原因になります。柔らかい布等で拭き取ってください。
- パッキンに傷や変形があると内部に水が入る原因になります。傷がついたり変形してしまった場合は、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

- ズームレバーのすきまから入り込んだ水や砂は、下側にある排出口から排出されます。



- 本機の各部に砂がかみこんで動きが悪いときは、ブロアーなどで砂を取り除き、繰り返し動作させてください。

目次

準備する

撮る／見る

応用操作

他機を使って保存する

本機の設定を変える

その他

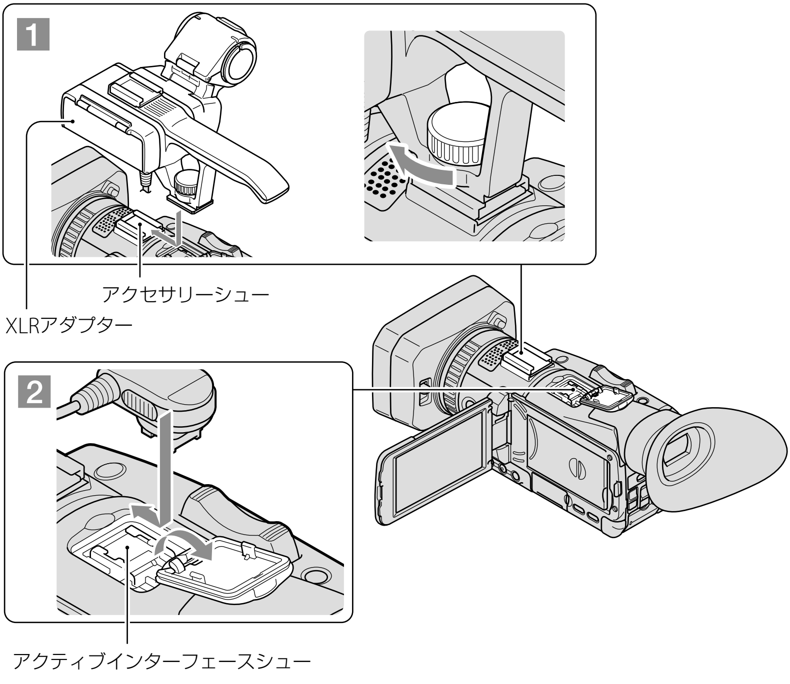
各部のなまえ・索引

目次

準備1：付属のマイクやレンズカバー付きフードを取り付ける

内蔵マイクを使う場合は、付属のXLRアダプターやマイクを取り付ける必要はありません。

XLRアダプターを取り付ける



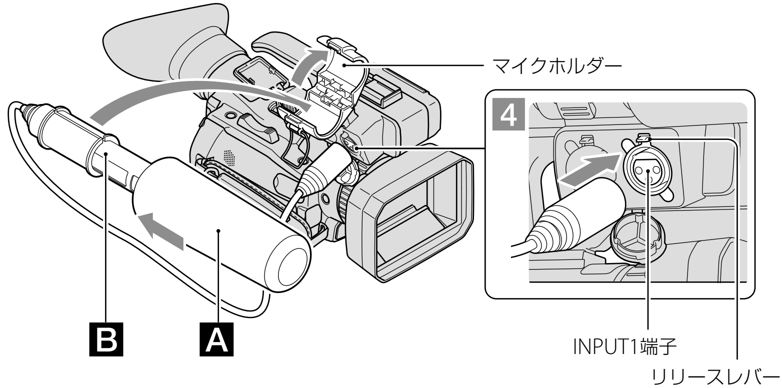
1 XLRアダプターを本機のアクセサリーシューに取り付け、XLRアダプターのネジをしっかり締める。

2 XLRアダプターの接続端子をアクティブインターフェースシューに取り付ける。

XLRアダプターを取り外すには

接続端子をアクティブインターフェースシューから外してから、XLRアダプターのネジをゆるめて外す。

マイクを取り付ける



1 付属のマイクBにウインドスクリーンAをかぶせる。

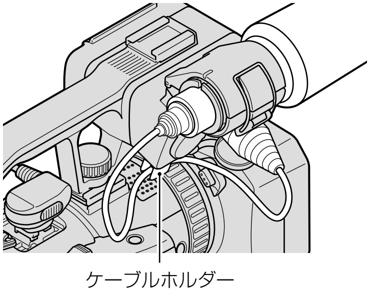
2 マイクホルダーのロックを外し、取り付け部のカバーを開ける。

3 マイクをマイクホルダーの取り付け部に入れ、カバーを閉じ、マイクホルダーをロックする。

マイクは、型名（ECM-XM1）が記された部分が上になるように取り付けます。

4 マイクケーブルをINPUT1端子につなぐ。

5 マイクケーブルをケーブルホルダーに取り付ける。



ケーブルホルダー

音声の設定については、52ページをご覧ください。

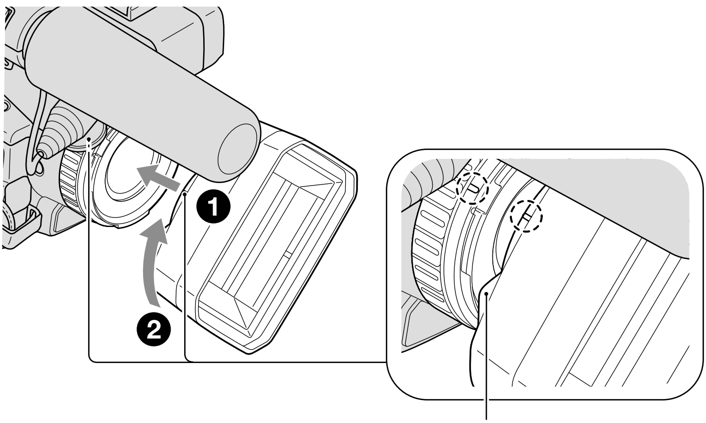
マイクケーブルを取り外すには

① マイクをマイクホルダーから取り外す。

② リリースレバーを下げながら、プラグを持って引き抜く。

レンズカバー付きフードを取り付ける

本体とフードの印を合わせて（❶）、矢印❷の方向にロックされるまで回す。



PUSH（レンズフード取り外し）ボタン

レンズカバー付きフードを取り外すには

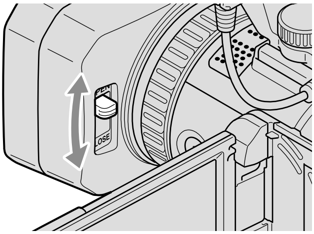
PUSH（レンズフード取り外し）ボタンを押しながら、取り付けた方向と反対方向に回す。

ちょっと一言

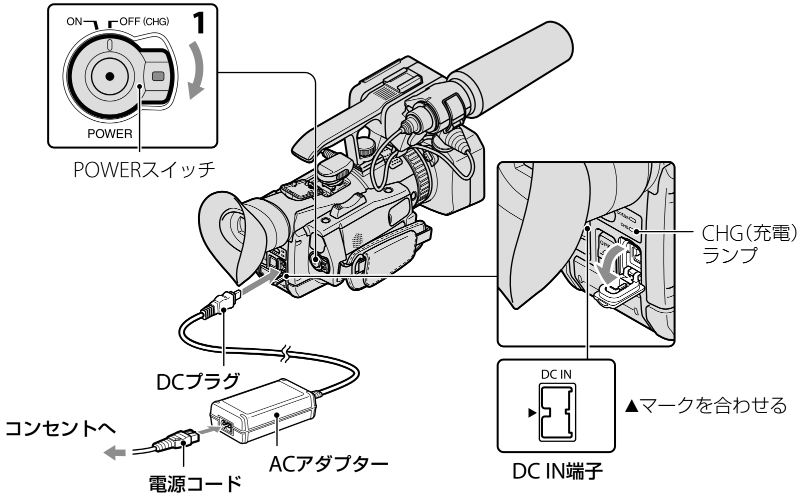
- 直径37ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズカバー付きフードを取り外してください。

レンズカバーを開閉するには

レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。



準備2：バッテリーを充電する



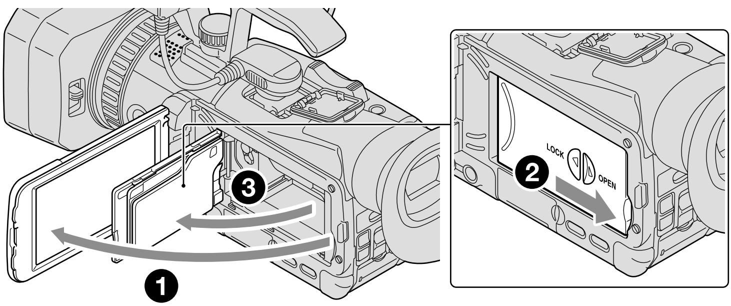
専用の"インフォリチウム"バッテリー（Vシリーズ）を本機に取り付けて充電します。

ご注意

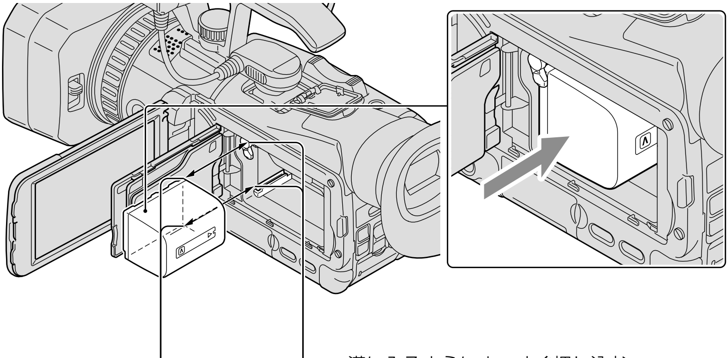
- "インフォリチウム"バッテリー NP-FV30/FV50は使えません。

1 POWERスイッチを「OFF（CHG）」（お買い上げ時の設定）にする。

2 本機の液晶画面を開いてから（❶）、バッテリーカバーを開く（❷❸）。

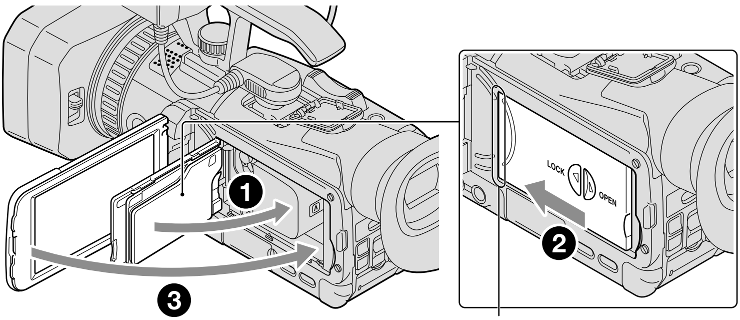


3 バッテリーを「カチッ」というまで押し込む。



溝に入るようにまっすぐ押し込む。

4 バッテリーカバーを閉じてから（❶❷）、本機の液晶画面を閉じる（❸）。



すき間がなくなるまで閉じる。

5 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。

CHG（充電）ランプが点灯し、充電が始まります。
充電が完了するとCHG（充電）ランプが消えます（満充電）。

6 充電が終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

充電時間（満充電）

使い切った状態からのおよその時間（分）

バッテリー型名	満充電時間
NP-FV70（付属）	195
NP-FV100	390

- 25℃で充電したときの時間です。10℃～30℃での充電をおすすめします。

ちょっと一言

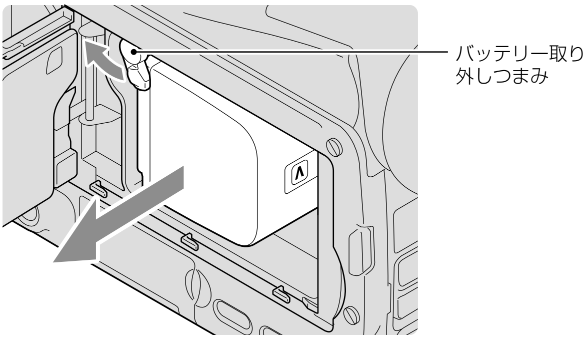
- 撮影・再生可能時間は、111ページをご覧ください。
- 電源を入れて撮影画面にすると、画面右上のバッテリー残量表示でおおよそのバッテリー残量を確認できます。

バッテリーを取り外すには

① POWERスイッチを「OFF（CHG）」にする。

② 液晶画面を開いてから、バッテリーカバーを開く（16ページ）。

③ バッテリー取り外しつまみを矢印の方向にずらして、バッテリーを取り出す。



④ バッテリーカバーを閉じてから、液晶画面を閉じる（17ページ）。

コンセントの電源で使うには

「準備2：バッテリーを充電する」（16ページ）のつなぎかたのまま操作する。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

海外で充電するには

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

ご注意

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用しないでください。

バッテリーについて

- バッテリーやACアダプターを取り外すときは、本機の電源を切り、（動画）ランプ/（静止画）ランプ（31、32ページ）、ACCESSランプ（28ページ）が消えていることを確認してください。
- 次のとき、充電中のCHG（充電）ランプが点滅することがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーの温度が低いとき
    バッテリーを外して暖かいところに置いてください。
  - バッテリーの温度が高いとき
    バッテリーを外して涼しいところに置いてください。

ACアダプターについて

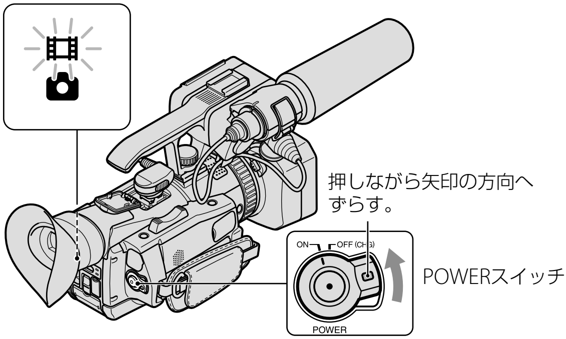
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

電源コードについて

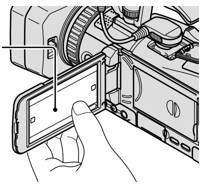
付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

準備3：電源を入れて日時を合わせる

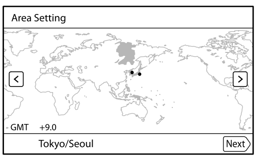
1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをONにする。



2 言語を選び、[Next]をタッチする。



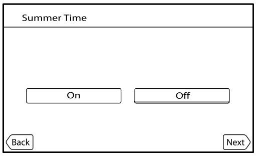
3 </> でエリアを選び、[Next]をタッチする。



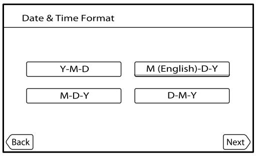
• 再度、時計あわせをするには、MENU（メニュー）→[Setup]→[(Clock Settings)]→[Date & Time Setting]→[Date & Time]の順にタッチします。画面にないときは、^/vをタッチして項目を表示させます。

4 [Summer Time]を選び、[Next]をタッチする。

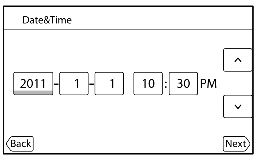
- [Summer Time]を[On]にすると、時計が1時間進みます。



5 希望の日付表示形式を選び、[Next]をタッチする。



6 設定する項目を選び、[^]/[v]で数値を設定し、[Next] → [OK]をタッチする。



時計が動き始めます。

ご注意

- 日付時刻は撮影時には表示されません。撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます。表示させるには、[MENU](メニュー) → [Setup] → [[▶](Playback Settings)] → [Data Code] → [Date/Time] → [OK] をタッチします。
- 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調整(キャリブレーション)をしてください(121ページ)。
- 一度日時を設定したあとは、[Auto Clock ADJ] (98ページ) / [Auto Area ADJ] (98ページ)を[On]に設定しておくと自動的に日時が補正されます。地域によっては正しい時刻にならない場合があります。その場合は[Off]に設定してください。

ちょっと一言

- 日付時刻を撮影データに埋め込むこともできます（86ページ）。

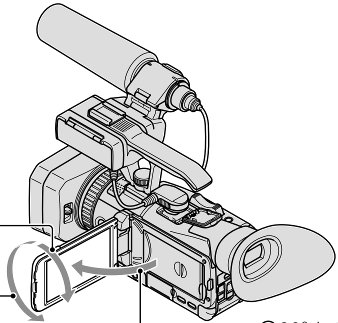
電源を切るには

POWERスイッチを「OFF（CHG）」にする。

準備4：撮影前の調節をする

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

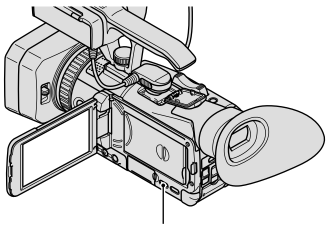


ちょっと一言

- 液晶画面の明るさは、メニューの[LCD Brightness]（96ページ）で調節できます。

液晶画面の表示を切り換える

DISPLAYボタンを押して、詳細表示→簡易表示→非表示の順に切り換える。



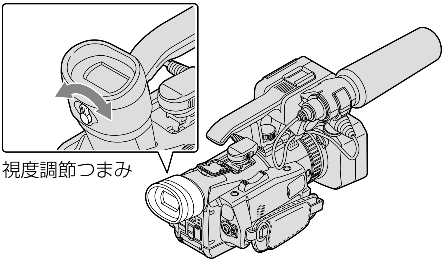
ちょっと一言

- お買い上げ時の設定では、約4秒後に簡易表示に切り替わります（[Display Setting]、96ページ）。液晶画面のボタン以外の部分をタッチすると、詳細表示になります。



ファインダーを見やすく調節する

ファインダーで撮るときは、液晶画面を閉じる。ファインダーの画面表示がぼやけているときは、ファインダー下の視度調節つまみで調節する。



ご注意

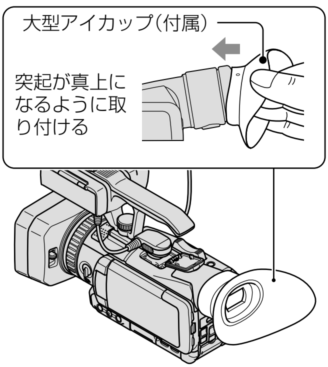
- ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際に記録メディアに記録されることはありません。

ちょっと一言

- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[VF Back Light]で設定できます（96ページ）。

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて大型アイカップを取り付けます。大型アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。



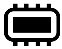
ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取り外さないでください。

準備5：メディアを準備する

本機で使用できる記録メディアは、本機の画面では次のようなアイコンで表示されます。


*
メモリーカード


内蔵メモリー

* お買い上げ時の設定ではこの記録メディアに動画・静止画が記録されます。設定したメディアで画像を記録、再生、編集できます。

ちょっと一言

- 撮影可能時間と枚数は111ページをご覧ください。

記録メディアを変える

1 MENU（メニュー）→[Rec/Media SET]→[Media Select]をタッチする。

[Media Select]画面が表示されます。

2 希望の記録メディアをタッチして、OK → OK をタッチする。

動画と静止画が選択された記録メディアに記録されます。

記録メディアを確かめるには

動画または静止画の撮影モードで、画面右上に記録メディアが表示されます。



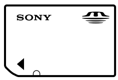
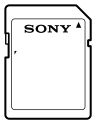
記録メディアアイコン

メモリーカードを入れる

ご注意

- メモリーカードに動画や静止画を記録する場合は、記録メディアを[Memory Card]に設定してください。

本機で使えるメモリーカード

		SDスピードクラス	本書での表現
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)		–	“メモリースティック PRO デュオ”
“メモリースティック PRO-HG デュオ”			
SDメモリーカード		Class 4以上	SDカード
SDHCメモリーカード			
SDXCメモリーカード*			

* SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT(SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステム)に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。

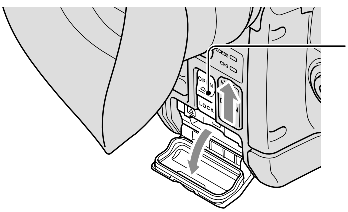
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック PRO デュオ”、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。
- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は32GB、SDカードは64GBまでです。

ご注意

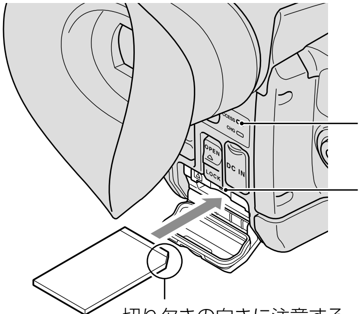
- マルチメディアカードは使用できません。

---

1 OPEN/LOCKつまみをOPENにずらして、カバーを開く。

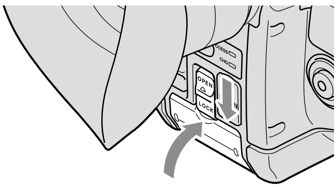


2 メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」というまで押し込む。



新しいメモリーカードを入れたときは、[Preparing image database file. Please wait.]が表示されます。表示が消えるまでそのままお待ちください。

3 カバーを閉じて、OPEN/LOCKつまみをLOCKにずらす。



ご注意

- [Failed to create a new Image Database File. It may be possible that there is not enough free space.]と表示されたときは、メモリーカードをフォーマットしてください（57ページ）。
- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- 撮影中にカバーを開けないでください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

メモリーカードを取り出すには

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

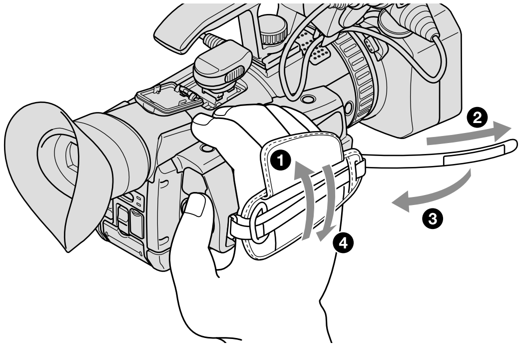
撮る

お買い上げ時の設定では、動画と静止画はメモリーカードに記録されます。動画はハイビジョン画質（HD）で記録されます。

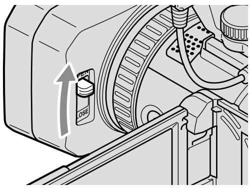
ちょっと一言

• 記録メディアの変えかたは26ページをご覧ください。

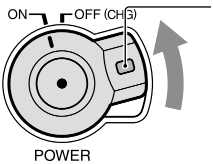
1 グリップベルトをしっかり締める。



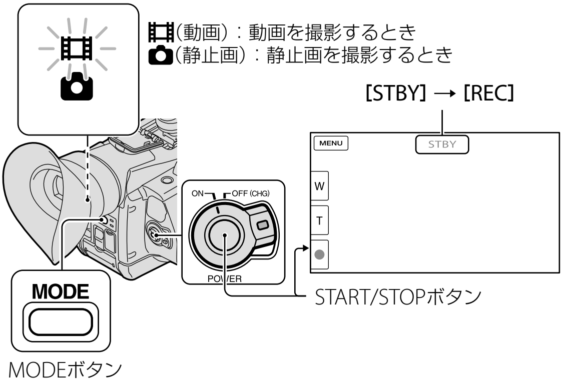
2 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。



3 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。



動画を撮る



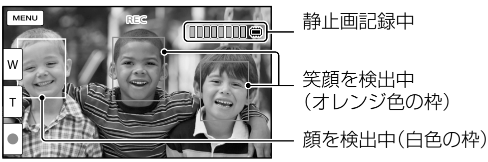
1 MODEボタンを押して、(動画)ランプを点灯させる。

2 START/STOPボタンを押して動画の録画を始める。

撮影中は録画ランプ(130ページ)が点灯します。
撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

笑顔を逃さず撮る

お買い上げ時の設定では、動画撮影中に人物の笑顔を検出して、自動的に静止画を記録します(スマイルシャッター、87ページ)。
また、人物の顔を検出すると、顔部分の画質が自動的に調節されます([Face Detection]、87ページ)。



ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- 撮影終了後、次の状態のときは撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。
  - ACCESSランプ(28ページ)が点灯中、または点滅中
  - 液晶画面右上のメディアアイコンが動作中

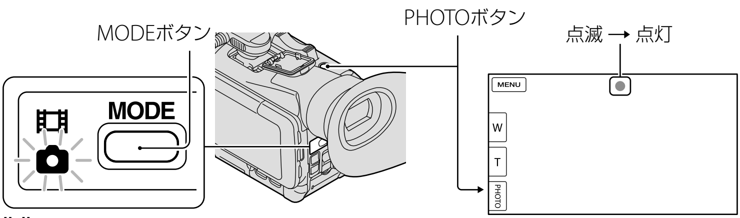
ちょっと一言

- 動画の撮影可能時間は111ページをご覧ください。
- 動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を撮影できます（デュアル記録、45ページ）。
- [SteadyShot]機能は、お買い上げ時の設定は[Standard]です。
- 優先的に被写体を選んでフォーカスなどを自動調節することができます（追尾フォーカス、44ページ）。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます（97ページ）。
- 記録した動画から静止画を作成できます（62ページ）。
- 撮影可能時間や空き容量の目安などを確認するには、MENU（メニュー）→[Rec/Media SET]→[Media Info]をタッチします（91ページ）。
- 本機に搭載されている液晶画面は、記録エリア全体を表示できます（フルピクセル表示）。このため、フルピクセル表示機能のないテレビに接続した場合、画面の上下左右が若干切れて表示されることがあります。[Safety Zone]（89ページ）を設定して、表示される外側の枠を目安に撮影することをおすすめします。

撮影時のデータについて

- 撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータ、緯度経度データが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻/カメラデータ/緯度経度データとして確認できます（94ページ）。
- 日付時刻を撮影データに埋め込むこともできます（86ページ）。

静止画を撮る



（動画）：動画を撮影するとき
（静止画）：静止画を撮影するとき

が消えると記録されます。

1 MODEボタンを押して、（静止画）ランプを点灯させる。

静止画撮影モードに切り替わります。

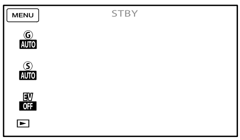
2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。

ちょっと一言

- 静止画の撮影可能枚数は112ページをご覧ください。
- 画像サイズは、MENU（メニュー）→[Rec/Media SET]→[Image Size]→好みの設定→ OK をタッチして変更できます。
- 表示中は静止画撮影できません。

マイボタンを使う

動画、静止画の撮影画面では、メニュー項目へのショートカットとして3つのマイボタンが配置されています。よく使うメニュー項目をマイボタンに登録すると便利です。（48ページ）



ちょっと一言

- お買い上げ時の設定では、[Gain]（50ページ）、[Shutter Speed]（83ページ）、[AE Shift]（83ページ）が登録されています。

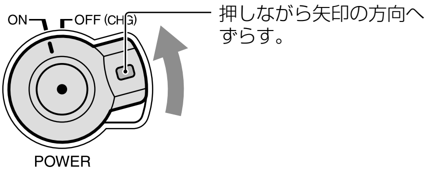
本機で見る

お買い上げ時の設定では、メモリーカードに記録した動画や静止画を再生します。

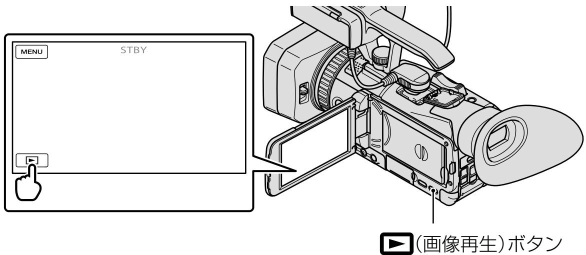
ちょっと一言

- 記録メディアの変えかたは26ページをご覧ください。
- 本機は撮影日時を元に、撮影した画像を自動でまとめてイベントとして表示します。

1 POWERスイッチを「ON」にする。



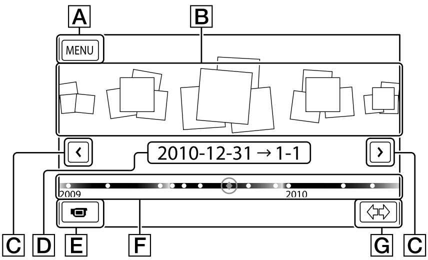
2 ▶(画像再生)ボタンを押す。



数秒後にイベントビューが表示されます。

3 ＜/＞で見たいイベント(B)を選んでタッチする。

イベントインデックス画面が表示されます。



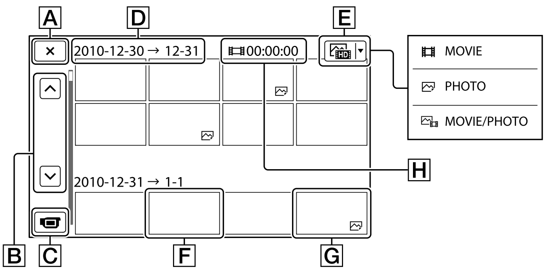
A MENUへ
Bイベント
C < / > ：前のイベントへ/次のイベントへ
D イベント名
E 撮影画面へ
F タイムラインバー
G イベントサイズ切換

- タイムラインバーの◆をタッチして選ぶこともできます。
- 画面右下の ⇦⇨（Gイベントサイズ切換ボタン）をタッチすると、タイムラインバーに表示されるイベントの範囲を約1年半分から約3ヶ月分に切り換えることができます。

---

4 見たい画像をタッチする。

Eをタッチすると、インデックスに表示する画像を、[MOVIE]（動画のみ）、[PHOTO]（静止画のみ）、[MOVIE/PHOTO]（動画/静止画混合）から選ぶことができます。



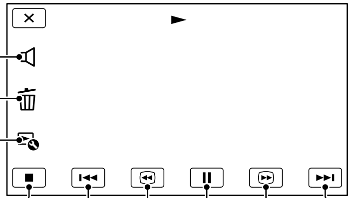
A イベントビューへ
B 前のページへ/次のページへ（押し続けると、連続でスクロールします。）
C 撮影画面へ
D イベントタイトル
E 表示画像切り換え
F 動画
G 静止画（ ）
H イベント内の動画の合計時間（静止画のみのときは合計枚数）

- 最後に再生・撮影した動画や静止画に ▶| が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。

撮る／見る

動画再生時の画面を操作する

動画再生時は以下の各機能を操作できます。表示画像切り換えボタンで[MOVIE/PHOTO](お買い上げ時の設定)、または[MOVIE]を選んでいると、再生時の画面は以下のようになります。



* 動画再生時のみご使用になれます。

ご注意

- 本機で撮影した画像は他機では再生できない場合があります。

ちょっと一言

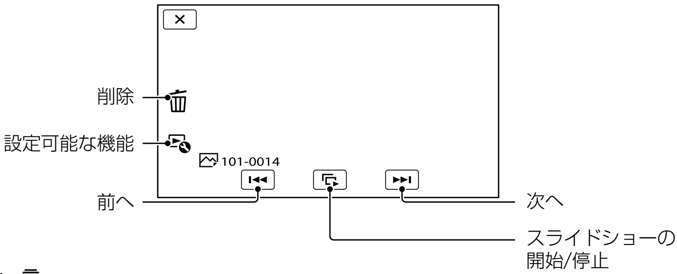
- 再生中の画面で (活用)をタッチすると、その状況で使える機能を表示して、気軽に設定できます。
- 選んだ画像から最後の画像まで再生されると、インデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に / をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、 / はタッチする回数によって、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生します。
- 撮影時に日付時刻と撮影条件を示したカメラデータ、緯度経度データが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中は表示されませんが、MENU(メニュー)→[Setup] → [(Playback Settings)] → [Data Code] → 好みの設定 → OK → OK をタッチすると再生時に表示できます。

音量を調節するには

動画再生中に、 (音量調節)→ / で調節 → OK をタッチします。

静止画を見る

静止画表示時は以下の各機能を操作できます。表示画像切換えボタンで[PHOTO]を選んでいると、再生時の画面は以下のようになります。

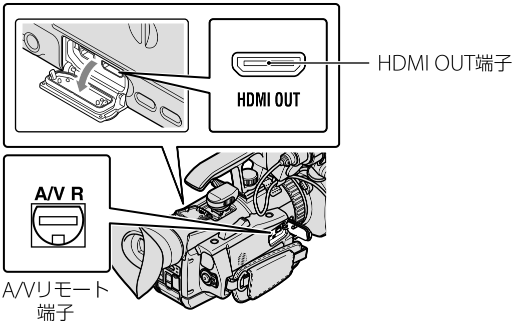


ちょっと一言

- スライドショーの繰り返し再生を設定するときは、 → [Slideshow Set]をタッチしてください。

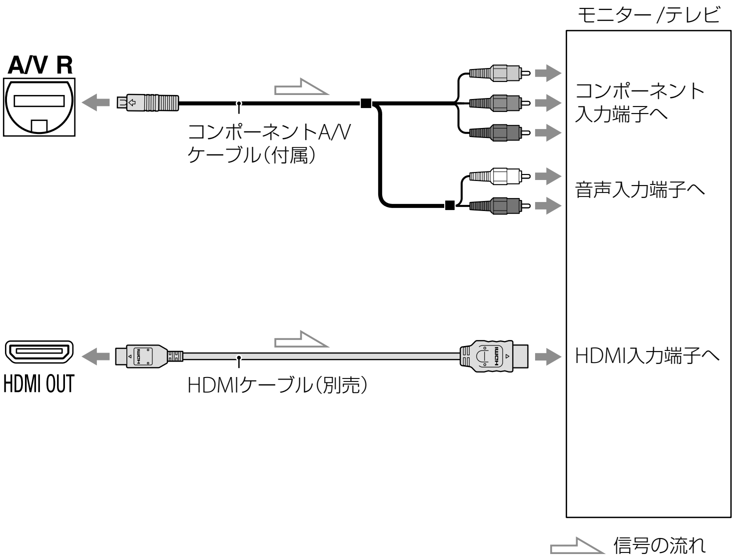
モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類や接続する端子によって、接続方法やテレビに映る画質（ハイビジョン（HD）/標準（STD））が異なります。



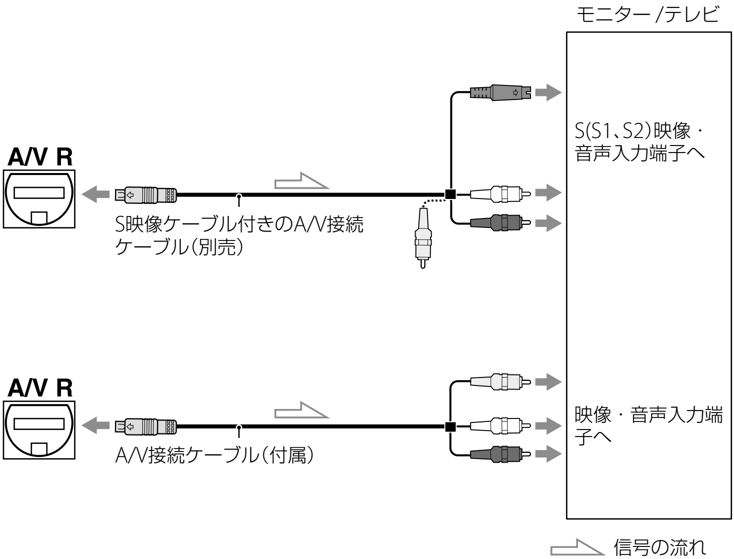
コンポーネントまたはHDMI入力端子につなぐ

記録画質がハイビジョン（HD）のときはHD画質で、標準（STD）のときはSTD画質で出力されます。



S映像または映像入力端子につなぐ

記録画質がハイビジョン（HD）のときは変換してSTD画質で、標準（STD）のときはSTD画質で再生されます。



出力解像度一覧

[HD/STD Setting] (56ページ)	[HDMI/Component] (95ページ)	出力解像度	
		HDMI	コンポーネント
[HD HD Quality]	1080p/480i	1080p	1080p
	720p/480i	720p	720p
	1080i/480i	1080i	1080i
	480p	480p	480p
	480i	480i	480i
[STD STD Quality]	1080p/480i	480i	480i
	720p/480i	480i	480i
	1080i/480i	480i	480i
	480p	480p	480p
	480i	480i	480i

ご注意

- [Frame Rate]が[60p]のときは、録画中に720pと480pの出力ができません。[HDMI/Component]の設定が[720p/480i]または[480p]になっていると、録画中は黒い画面になります。

コンポーネントA/Vケーブル接続のときは

- コンポーネント映像入力端子のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

HDMIケーブル接続のときは

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 本機側はHDMIミニコネクタ、テレビ側はテレビの端子にあったプラグのHDMIケーブルをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、本機のHDMI OUT端子から出力できません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。

ハイビジョン非対応のテレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の横縦比を変えるには

- お使いになるテレビの横縦比に合わせて、[Down Convert Type]を[Squeeze]、[Letter Box]または[Edge Crop]に設定してください(95ページ)。

S映像ケーブル付きA/V接続ケーブル接続のときは

- S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

モノラルテレビ（音声端子がひとつ）のときは

- A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）か赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声入力へつないでください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

- ビデオの入力端子によって接続方法を選んでください。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」（ビデオ1、ビデオ2など）に切り換えてください。

ご注意

- 標準画質（STD）で記録して、ワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に MENU（メニュー）→[Rec/Media SET]→[STD Wide Rec]→[4:3]→ OK をタッチして、4:3で撮影してください（91ページ）。
- A/V接続ケーブルを使って接続すると、出力される画質は標準画質（STD）になります。
- 本機はブラビアリンクに対応しておりません。

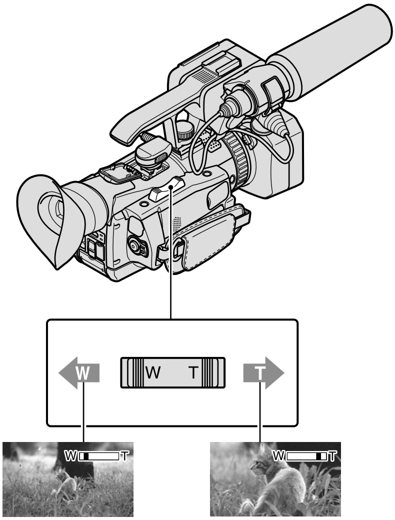
ちょっと一言

- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、テレビの入力がHDMI・コンポーネント→S（S1、S2）映像→映像端子の順で優先されます。
- HDMI（High Definition Multimedia Interface）とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

撮るときに便利な機能

ズームする

10倍までズームできます。倍率はズームレバーで調整します。液晶画面の W/T をタッチしても操作できます。



広角：Wide（ワイド）　望遠：Telephoto（テレフォト）

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

ご注意

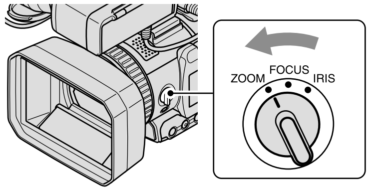
- ズームレバーから急に指を離さないでください。操作音が記録される場合があります。
- 液晶画面の W/T では、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- [SteadyShot]が[Active]のときは、14倍までのズームができます。

ちょっと一言

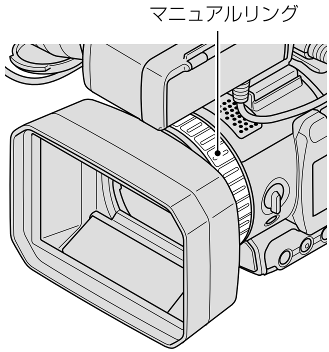
- さらにズームするには、[Digital Zoom]（85ページ）を使ってください。

マニュアルリングでズームするには

① ZOOM/FOCUS/IRISスイッチを「ZOOM」にする。



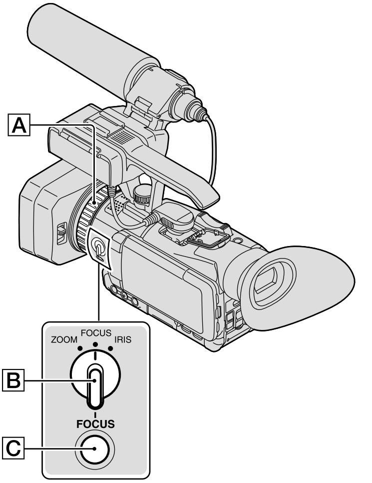
② マニュアルリングを回す。
好みの速さでズームできます。微調整も可能です。



ご注意

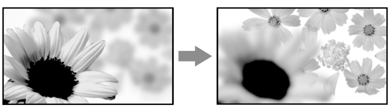
- マニュアルリングは適度な速さで回してください。速すぎるとマニュアルリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

ピントを調節する



撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。
以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体

1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSボタンCを押す。

が表示されます。

2 ZOOM/FOCUS/IRISスイッチBを「FOCUS」にする。

マニュアルリングAにフォーカスがわりあてられます。

3 マニュアルリングAを回し、ピントが合うように調節する。

は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないときに変わり、それ以上近くに合わせられないときに変わります。

ピント合わせのコツ

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

自動調節にするには

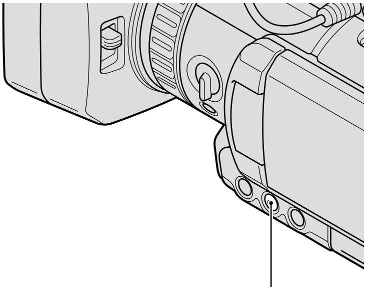
FOCUSボタンCをもう一度押す。
が消え自動調節に戻ります。

ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を約3秒間表示します。(別売のコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。)
  - ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  - フォーカスを手動調節したとき
- MENU(メニュー) → [Camera/Audio] → [(Manual Settings)] → [Focus]からも設定できます。

応用操作

拡大表示をしてピントを合わせる（拡大フォーカス）



EXPANDED FOCUSボタン

EXPANDED FOCUSボタンを押すと、画面中央が約2.0倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。もう一度押すと元に戻ります。

ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

追尾フォーカス機能を使う

被写体をタッチすると、本機が自動的に被写体を追尾してフォーカスなどを調整します。

顔枠部をタッチしたとき

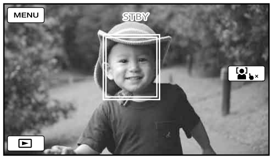
顔枠が二重枠になり、フォーカス/色/露出を自動的に調整します。

顔枠部以外の被写体をタッチしたとき

二重枠が表示され、フォーカスを自動的に調節します。



追尾したい被写体をタッチ



二重枠が表示される

解除するには、画面右の×/をタッチする。

ご注意

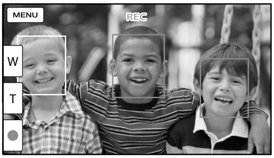
- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによってタッチした被写体が正しく検出できないことがあります。この場合は、撮影するときにもう一度タッチしてください。
- 顔枠部を追尾したいときは、あらかじめ[Face Detection]（87ページ）（お買い上げ時の設定は[Auto]）を[Off]以外に設定してください。

ちょっと一言

- スマイル検出の対象となる顔の二重枠はオレンジ色になります。
- タッチした顔が画面から消えた場合は、[Face Detection]（87ページ）で設定した被写体を優先します。タッチした顔が画面に戻った場合は、タッチした顔が優先になります。

笑顔を自動で撮影する(スマイルシャッター)

人物の笑顔を検出して自動的に静止画を記録します(お買い上げ時の設定は[Dual Capture]、87ページ)。スマイル検出の対象となる顔にはオレンジ色の枠がつきます。



ご注意

- [Frame Rate]/[REC Mode]を[60i]/[Highest Quality FX]または[60p]/[60p Quality PS]に設定しているときは、動画撮影中にスマイルシャッターが動作しません。また、[Frame Rate]を[24p]に設定しているときは、スマイルシャッターが動作しません。
- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。

ちょっと一言

- [Face Detection](87ページ)で顔検出とスマイル検出の対象被写体を設定できます。液晶画面に表示された顔枠にタッチして優先する被写体を選んだ場合は、二重枠が表示されている被写体が優先になります。
- 笑顔が検出できない場合は、[Smile Sensitivity](87ページ)の設定をしてください。

動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)

動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を撮影できます。

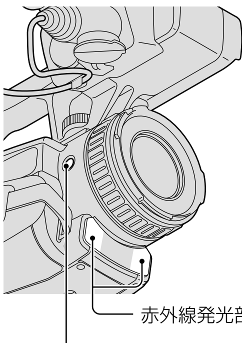
ご注意

- 記録メディアの容量不足時や、連続して静止画を撮影すると、 が表示されることがあります。表示されている間は撮影できません。
- [REC Mode]や、[Frame Rate]の設定によっては、 が表示されてデュアル記録ができない場合があります。

ちょっと一言

- MODEランプが (動画)のとき、静止画の画像サイズは[16:9 12.3M](16:9)または[9.2M](4:3)になります。
- 撮影スタンバイ中は (静止画)ランプ点灯時と同様に静止画を記録できます。ただし、[Frame Rate]を[24p]に設定しているときは、動画撮影モードで静止画を撮影できません。

暗い場所で撮影する(NightShot)



赤外線発光部

NIGHTSHOTボタン

NIGHTSHOTボタンを押すと、 が表示され、真っ暗なところでも撮影できます。解除するには、NIGHTSHOTボタンをもう一度押す。

ご注意

- NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。

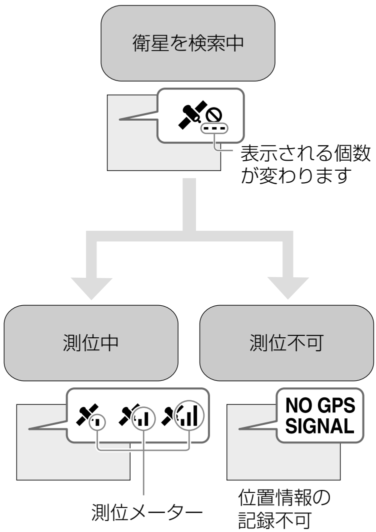
応用操作

- レンズカバー付きフード（付属）は赤外線発光の妨げとなるため、取り外してください。
- コンバージョンレンズ（別売）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（[Focus]、83ページ）をしてください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。
- 薄暗い場所でカラーで撮影するときは、[Low Lux]（83ページ）をお使いください。

測位情報を記録する（GPS）

お買い上げ時の設定では、動画や静止画の撮影時に位置情報を記録します。

GPSの測位状況



ご注意

- 測位中になるまで数分かかることがあります。
- 測位できないときは、次の操作を行うと改善される場合があります。
  - 電波が届きにくい場所（117ページ）から移動する。
  - GPSアンテナ部（131ページ）を手でおおわない。

ちょっと一言

- 次のときは、最大で数百メートルの測位の誤差を生じる場合があります。
  - 周囲の建物などで反射したGPSの電波を受信したとき
  - 受信したGPSの電波が弱いとき
- 記録した位置情報を表示するには、MENU（メニュー）→[Setup]→[Playback Settings]→[Data Code]→[Coordinates]を設定してください。

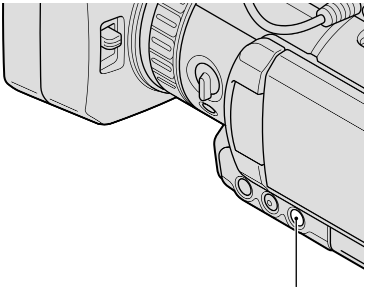
優先的に位置情報を受信するには

97ページをご覧ください。

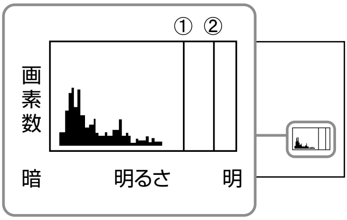
位置情報を記録しないときは

MENU（メニュー）→[Setup]→[（General Settings）]の[GPS Setting]を[Off]にする。

ヒストグラムを表示する



HISTOGRAMボタンを押すと、ヒストグラム（画像の明るさの分布を表した図（グラフ））が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。ヒストグラム は記録されません。



[Zebra]で設定した輝度レベル（①）と、輝度レベル100のライン（②）が表示されます。HISTOGRAMボタンを押すと、次の順に切り替わります。
非表示 → ②のみ → ①と②

ご注意

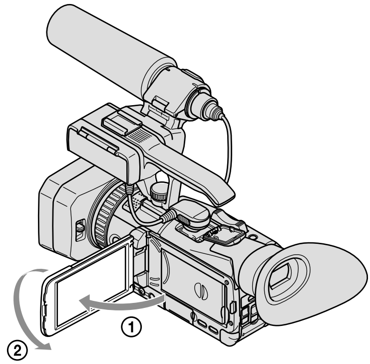
- デジタルズーム使用時は、ヒストグラムは表示されません。

ちょっと一言

- グラフの左側は画面の暗い部分、右側は明るい部分を示します。

- MENU（メニュー）→[Camera/Audio]→[(Shooting Assist)]→[Histogram]からも設定できます。

自分撮り（対面撮影）する



液晶画面を90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回します（②）。

ちょっと一言

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。
- ファインダーには画像は映りません。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

タイムコード/ユーザービット表示を切り換える

MENU（メニュー）→[TC/UB]→[TC/UB Disp]で表示する項目を選ぶ。

タイムコードを設定する

① MENU（メニュー）→[TC/UB]→[TC Preset]をタッチする。

② 設定する2桁を選び、▲/▼で数値を設定する。タイムコードは、00:00:00:00 ～ 23:59:59:29の範囲で設定します。
- 24p設定時は、末尾2桁を0 ～ 23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。

③ 手順②と同様にして、他の桁を設定し、[OK]をタッチする。

タイムコードをリセットする

MENU（メニュー）→[TC/UB]→[TC Preset]→[Reset]をタッチして、タイムコードをリセット（00:00:00:00）します。

リモコンを使ってタイムコードをリセットする

リモコンのTC RESETボタンを押しても、タイムコードをリセット（00:00:00:00）できます。

ユーザービットを設定する

① MENU（メニュー）→[TC/UB]→[UB Preset]をタッチする。

② 設定する2桁を選び、▲/▼で数値を設定する。

③ 手順②と同様にして、他の桁を設定し、[OK]をタッチする。

ユーザービットをリセットする

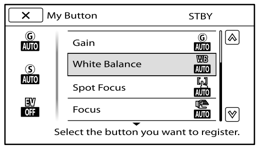
MENU（メニュー）→[TC/UB]→[UB Preset]→[Reset]をタッチしてユーザービットをリセット（00 00 00 00）します。

マイボタンを登録する

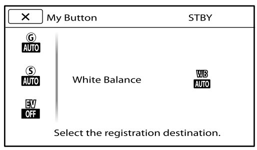
撮影時によく使うメニュー項目をマイボタン（33ページ）に登録できます。

1 MENU（MENU）→ [Camera/Audio] → [(Shooting Assist)] → [My Button]をタッチする。

2 登録したいメニューを ⌃ / ⌄ で選び、タッチする。



3 カスタマイズしたいボタンをタッチする。

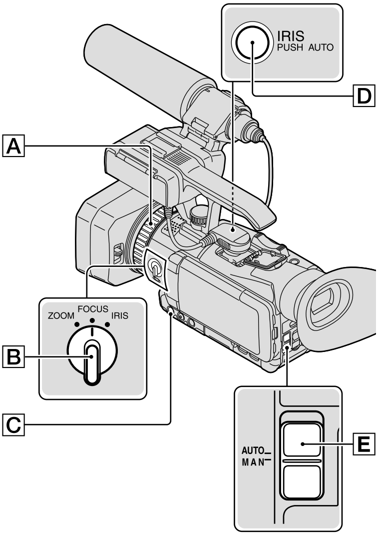


4 終了するには、OK をタッチする。

ちょっと一言

- 登録できるメニュー項目は、77ページをご覧ください。

マニュアルで撮る



アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスをマニュアル調節できます。AUTO/MANUALスイッチEを「MAN」に切り換えてください。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチEを「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスの手動調節は解除されます。
- [AE SHIFT]はアイリス、ゲイン、シャッタースピードのすべてを手動調節していると一時的に無効になります。

アイリスを調節する

レンズに入る光量をF1.8～F9.6、クローズ（CLOSE）の範囲で調節できます。絞りを開く（アイリス値を小さくする）と光量が増えます。絞りを閉じる（アイリス値を大きくする）と、光量が減ります。画面にアイリス値が表示されます。

1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチEを「MAN」にする。

2 アイリスが自動調節になっているときは、IRISボタンCを押す。

アイリス値が表示されます。または、アイリス値の横の A が消えます。

3 ZOOM/FOCUS/IRISスイッチBを「IRIS」にする。

マニュアルリングにアイリスが割り当てられます。

4 マニュアルリングAを回して調節する。

ちょっと一言

- アイリス値をF3.4よりも絞りを開いた（アイリス値が小さい）値（例：F1.8）に設定してもズームがW→Tになるにつれてアイリスは F3.4に変化します。
- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く（ピントの合う範囲が狭く）なり、絞りを閉じると深く（ピントの合う範囲が広く）なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。
- 背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。
- MENU（メニュー）→[Camera/Audio]→[M(Manual Settings)]→[IRIS]からも設定できます。

応用操作

一時的に自動調節にするには

IRIS PUSH AUTOボタンDを押したままにする。押している間はアイリスが自動調節されます。

自動調節にするには

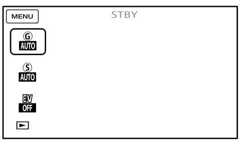
IRISボタンCを押す。
アイリス値が消えます。または、アイリス値の横にAが表示されます。

ゲインを調節する

AGC（オートゲインコントロール）によるゲインアップを行いたくないときなどに使います。

1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチEを「MAN」にする。

2 G AUTO→[Manual]をタッチする。



3 ゲイン値を0dB ～ 21dBから選び、OKをタッチする。

ゲイン値の横のAが消えます。または、ゲイン値が表示されます。

ちょっと一言

- MENU（メニュー）→[Camera/Audio]→[M(Manual Settings)]→[Gain]からも設定できます。

自動調節にするには

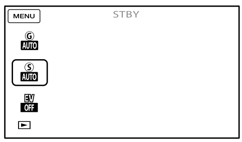
[Gain]を[Auto]にする。
ゲイン値が消えます。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチEを「MAN」にする。

2 S AUTO→[Manual]をタッチする。



3 -/+をタッチして、シャッタースピードを調節する。

1/8秒～ 1/10000秒から選べます。
シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

ちょっと一言

- [Frame Rate]が[24p]のときは、シャッタースピードを1/6 ～ 1/10000秒の範囲で設定できます。

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。
- MENU(メニュー)→[Camera/Audio]→[(Manual Settings)]→[Shutter Speed]からも設定できます。

自動調節にするには

[Shutter Speed]を[Auto]にする。
シャッタースピード値が消えます。または、シャッタースピード値の横にAが表示されます。

自然な色合いに調節する(White Balance)

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。



1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチEを「MAN」にする。

2 MENU(メニュー)→[Camera/Audio]→[(Manual Settings)]→[White Balance]をタッチする。

3 好みの項目をタッチする。

▶ **Auto**
自動調節される。

Outdoor()
次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

Indoor()
次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

One Push()
光源に合わせてホワイトバランスを固定する。
① []をタッチする。
② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
③ [SET]をタッチする。

ご注意
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[Auto]に設定するか[One Push]の手順で色合いを調節してください。
- [One Push]設定時は、白いものを映し続けてください。
- 動画撮影中はSETが灰色表示になり、設定できません。

ちょっと一言
- [Auto]でバッテリーを交換したときや屋内外を移動したときは、10秒ほど白っぽい被写体を映すと、より良い色合いになります。
- [One Push]設定中に、屋外と屋内を行き来したりしたなど照明条件が変わったときは、再び[One Push]の手順を行ってください。

応用操作

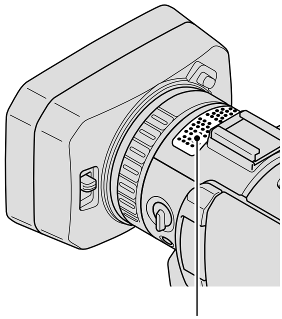
自動調節に戻すには

[White Balance]を[Auto]にする。

音の設定をする

本機で音声を入力する方法は、内蔵マイク、MIC入力端子、XLRアダプターの3種類から選べます。
MIC入力端子とXLRアダプターの接続状態により、以下の優先順位で選択されます。
MIC入力端子＞XLRアダプター＞内蔵マイク

内蔵マイクを使う



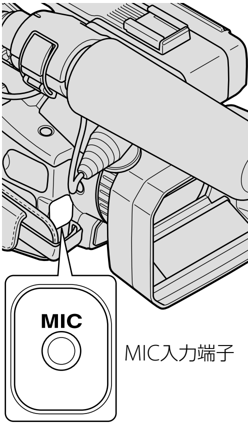
内蔵マイク

内蔵マイクを使うときは、XLRアダプターを取り外してください。ステレオ音声を収録できます。

ちょっと一言

- 音が小さいときは、[Int. Mic. Sensitivity]（88ページ）を[High]にしてください。
- 風切り音を低減するには、[Int. Mic. Wind NR]（88ページ）を[On]にしてください。

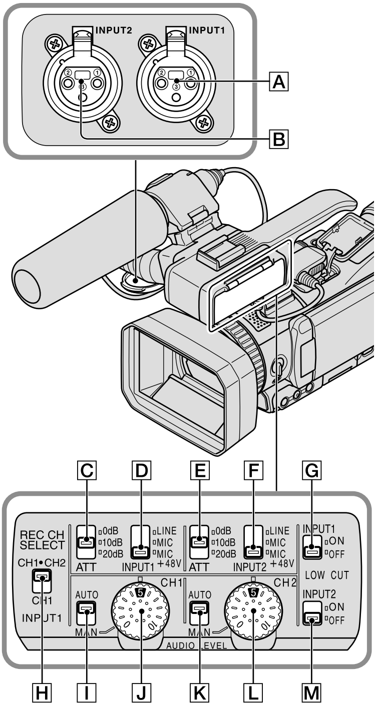
外部マイク（別売り）を使う



MIC入力端子に外部マイクを接続すると、外部マイクの音声に切り替わります。
記録中には切り替わりません。

付属のマイクを使う

付属マイク（ECM-XM1）を使うときは、XLRアダプターを接続してください。鋭指向性のモノラル音声を収録できます。



外部音声の入力

A : INPUT1端子
B : INPUT2端子

音源の選択

D : INPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ
F : INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ

音源レベルの選択

C : ATT（INPUT1）スイッチ
E : ATT（INPUT2）スイッチ

録音するチャンネルの選択

H : REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ

録音レベルの選択

I : AUTO/MAN(CH1)スイッチ
J : AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル
K : AUTO/MAN(CH2)スイッチ
L : AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル

風音低減の入/切

G : LOW CUT(INPUT1)スイッチ
M : LOW CUT(INPUT2)スイッチ

1 **XLRアダプターを取り付け(12ページ)、INPUT1端子Aに付属マイクを接続する。**

2 **INPUT 1 (LINE/MIC/MIC+48V)スイッチDを「MIC+48V」に切り換える。**

3 **REC CH SELECT(INPUT1)スイッチHを「CH1・CH2」に切り換える。**

この設定で、同じ音声がCH1、CH2の両方に録音されます。CH1だけに録音したいときは、「CH1」にしてください。

録音レベルを調節する

INPUT1端子A/INPUT2端子Bから入力した音声の録音レベルを調節できます。内蔵マイクとMIC入力端子の録音レベルは調節できません。

1 **調節するチャンネル(CH1またはCH2)のAUTO/MANスイッチ(IまたはK)を「MAN」にする。**

2 **AUDIO LEVELダイヤル(JまたはL)を回して、適正なレベルになるように音量を調節する。**

適正なレベルになっているか、ヘッドホンやオーディオレベルメーター(90ページ)で確認してください。

自動調整に戻すには

AUTO/MANスイッチ(IまたはK)を「AUTO」にする。

風切り音を低減する

INPUT1端子A/INPUT2端子Bから入力した音声の風切り音を低減できます。

LOW CUT(INPUT1)スイッチGまたはLOW CUT(INPUT2)スイッチMを「ON」にする。

ちょっと一言

- ハイビジョン画質(HD)で録画時の[HD Audio Format]は、[Linear PCM]か[Dolby Digital]を選択できます(87ページ)。
- ヘッドホンやスピーカーの音量は、メニューの[Volume](88ページ)で調節できます。
- ヘッドホンや音声出力端子の音声出力タイミングを変えることができます(88ページ)。

外部音声機器などを使う

付属マイク以外のマイクや外部音声機器（ミキサーなど）を使うには、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ

INPUT1端子[A]/INPUT2端子[B]に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ（[D]または[F]）を設定します。
外部音声機器（ミキサーなど）：LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク：MIC
+48V電源（ファンタム電源）対応のマイク：MIC+48V

ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になりますので、接続する前にご確認ください。
- 接続しない端子のノイズが気になるときは、INPUT1/INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ（[D]または[F]）を「LINE」にしてください。

2 マイクの入力レベルを設定する。

INPUT1/INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ（[D]または[F]）が「MIC」か「MIC+48V」のときは、ATT（INPUT1/INPUT2）スイッチ（[C]または[E]）で入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。付属マイク（ECM-XM1）の場合は、ATT 10dBがおすすめです。入力レベルは、以下のようになります。

ATT 0dB：-60dBu
ATT 10dB：-50dBu
ATT 20dB：-40dBu

ご注意

- INPUT1/INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ（[D]または[F]）がLINEのときは、入力レベルは+4dBuに固定されます。ATTスイッチを切り換えても入力レベルは変わりません。

3 録音するチャンネルを設定する。

REC CH SELECT（INPUT1）スイッチ[H]で、録音するチャンネルを選びます。

REC CH SELECT（INPUT1）スイッチの位置	CH1、CH2に録音される音声
CH1・CH2	INPUT1 → CH1 INPUT1 → CH2
CH1	INPUT1 → CH1 INPUT2 → CH2

ちょっと一言

- XLR(3PIN)プラグが2個ついているステレオマイクを使うにはINPUT1端子[A]にLch、INPUT2端子[B]にRchを接続し、REC CH SELECT（INPUT1）スイッチ[H]をCH1に設定します。

画質や記録メディアを設定する

ハイビジョン画質（HD）／標準画質（STD）を設定する

本機では、高精細な映像を楽しめるハイビジョン画質（HD）と、再生機器との互換性にすぐれた標準画質（STD）の2種類から画質を選べます（お買い上げ時の設定は、[HD HD Quality]）。撮影する場面や再生機器に合わせて、お好みの画質を選んでください。

1 MENU（メニュー）→[Rec/Media SET] → [HD/STD Setting]をタッチする。

2 ハイビジョン画質（HD）で撮影するときは[HD HD Quality]、標準画質（STD）で撮影するときは[STD STD Quality]をタッチする。

3 OK → OK をタッチする。

記録される画質が切り替わります。

ちょっと一言

- 設定した画質でのみ、記録、再生、編集が可能です。別の画質で記録、再生、編集したいときは、画質を設定しなおしてください。

フレームレートを選ぶ

ハイビジョン画質（HD）では、フレームレートを選べます。通常の撮影は[60i]をおすすめします。フレームレートを選んだ後に、[REC Mode]の設定を行います（56ページ）。

1 MENU（メニュー）→[Rec/Media SET] →[Frame Rate]をタッチする。

2 お好みの設定をタッチし、[Next]をタッチする。

3 お好みの録画モードをタッチする。

4 OK をタッチする。

フレームレート/スキャン方式

- 60p：59.94プログレッシブ
- 60i：59.94インターレース
- 24p：23.98プログレッシブ

ちょっと一言

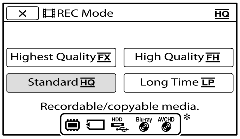
- フレームレートとは、単位時間あたりの画面の更新回数です。

録画モードを選ぶ

ハイビジョン画質(HD)では録画モードを選んで記録する画質を切り換えることができます。録画モードによって記録メディアへの録画可能時間が変わります（お買い上げ時の設定は[Highest Quality FX]）。

1 MENU（メニュー） → [Rec/Media SET] → [REC Mode]をタッチする。

2 お好みの設定をタッチする。



[Frame Rate]によって、選択できる録画モードが異なります（56ページ）。

* 保存できないメディアのアイコンに⃠が表示されます。

3 OK をタッチする。

録画モードと保存できるメディア

録画モードの設定によって、記録した動画を保存できるメディアが異なります。他機への保存方法については64ページをご覧ください。

保存できるメディア	録画モード		
	PS*	FX	FH/HQ/LP
本機			
内蔵記録メディア	○	○	○
メモリーカード	○	○	○
他機			
外付けメディア	○	○	○
ブルーレイディスク	–	○	○
AVCHD記録ディスク	–	–	○

* [Frame Rate]（56ページ）が60pのときに設定できます。

ちょっと一言

- ハイビジョン画質（HD）のPSモードは1920×1080/60pになります。FX、FHモードではAVCHD規格の1920×1080/60iまたは1920×1080/24pになります。HQ、LPモードではAVCHD規格の1440×1080/60iになります。
- ハイビジョン画質(HD)の画質は次のとおりです。
  - [60p Quality PS] (AVC HD 28M(PS))
  - [Highest Quality FX] (AVC HD 24M(FX))
  - [High Quality FH] (AVC HD 17M(FH))
  - [Standard HQ] (AVC HD 9M(HQ))
  - [Long Time LP] (AVC HD 5M(LP))
- 標準画質（STD）の画質は次の数値に固定されます。
  - [Standard HQ] (STD 9M(HQ))
- 24Mなどの「M」は「Mbps」のことです。

記録メディアをフォーマットする（初期化）

フォーマット（初期化）とはメディア内の動画・静止画をすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。

1 MENU（メニュー） → [Rec/Media SET] → [Format]をタッチする。

2 フォーマットする記録メディアを選択する。

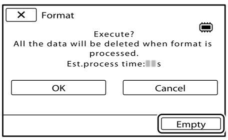
3 OK → OK をタッチする。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（18ページ）。
- 大切な画像は保存してから[Format]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。
- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、メモリーカードを取り出したり、ACアダプターを外したりしないでください（メモリーカードのフォーマット中はACCESSランプが点灯・点滅します）。

内蔵記録メディア上のデータを復元しにくくするには

本機の内蔵記録メディアに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。
本機を廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐために[Empty]を行うことをおすすめします。
[Format]画面で内蔵記録メディアを選択し、[Empty]をタッチしてください。



ご注意

- ACアダプターを使って電源をコンセントからとってください。ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、[Empty]を行うことはできません。
- 大切な画像データはパソコンまたは他機に保存してから、[Empty]を行ってください。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データの消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- データの消去にかかる時間は、液晶画面上でご確認ください。
- [Executing...]と表示されている間に中止した場合は、次に本機を使う前に、[Format]または[データ消去]を実行して完了させてください。

本機で編集する

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻すことができます。

ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- メモリーカードに記録した画像の削除中はメモリーカードを抜かないでください。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(60ページ)。

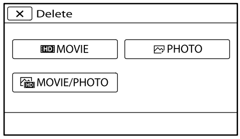
ちょっと一言

- イベントインデックスからの再生画面の場合 からも行えます。
- 記録メディアに保存されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、フォーマットしてください(57ページ)。
- インデックス画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。

1 (画像再生)ボタンを押す(34ページ)。

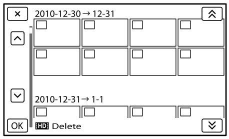
2 MENU(メニュー)→[Edit/Copy]→[Delete]をタッチする。

3 画像を選択して削除するときは、[Multiple Images]→[HD MOVIE]/[PHOTO]/[MOVIE/PHOTO]をタッチする。



- [HD/STD Setting](56ページ)で標準画質(STD)を選択しているときは、HDの代わりにSTDが表示されます。

4 削除したい動画・静止画をタッチして、✓を付ける。

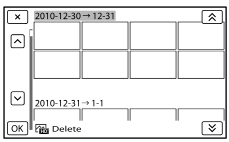


- サムネイルを長押しするとプレビューできます。✕で選択画面に戻ります。

5 OK → OK → OK をタッチする。

動画・静止画をイベントごとにまとめて削除するには

① 手順3で[All In Event]をタッチする。



② ⌃/⌄ をタッチして、削除したいイベントを選んで、OK をタッチする。

- サムネイルをタッチするとプレビューできます。× で選択画面に戻ります。

③ OK → OK をタッチする。

記録した画像を保護する（プロテクト）

動画・静止画を誤って削除してしまうことを防ぐことができます。
プロテクトされた画像には、O━がつきます。

1 **(画像再生)ボタンを押す（34ページ）。**

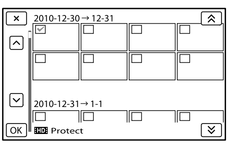
2 **MENU(メニュー) → [Edit/Copy] → [Protect]をタッチする。**

3 **画像を選択してプロテクトするときは、[Multiple Images] → [HD MOVIE] / [PHOTO] / [MOVIE/PHOTO]をタッチする。**

- [HD/STD Setting]（56ページ）で標準画質（STD）を選択しているときは、HDの代わりにSTDが表示されます。

4 **プロテクトする動画・静止画をタッチする。**

画像に✔マークがつきます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。× で選択画面に戻ります。

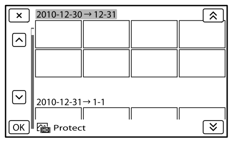
5 **OK → OK → OK をタッチする。**

プロテクトを解除するには

手順4で✔マークがついている動画・静止画をタッチする。
✔マークが消えます。

撮影したイベントごとにまとめてプロテクトするには

① 手順3で[Set All In Event]をタッチする。



② ︽/︾ をタッチして、プロテクトしたいイベントを選んで、OK をタッチする。

- サムネイルをタッチすると、プレビューできます。× で選択画面に戻ります。

③ OK → OK をタッチする。

撮影したイベントごとにプロテクトを解除するには

手順3で[Remove All In Event]をタッチして、プロテクトを解除したいイベントを選び、OK → OK → OK をタッチする。

画像をコピーする

本機の内蔵メモリーに保存した画像をメモリーカードにコピーします。コピー先のメモリーカードを本機に入れておいてください。

ご注意

- 初めてメモリーカードに画像を記録するときは、MENU（メニュー）→[Rec/Media SET]→[Repair Img. DB F.]→[Memory Card]で管理ファイルを作成してください。
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

ちょっと一言

- コピーしても、元の画像は削除されません。
- 本機で撮影して記録された画像を「オリジナル」といいます。

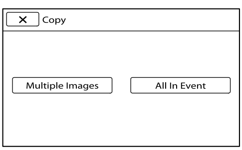
1 （画像再生）ボタンを押す（34ページ）。

2 MENU（メニュー）→[Edit/Copy]→[Copy]をタッチする。

メディア選択画面が表示されます。

3 コピー元とコピー先のメディアをタッチする。

[Int. Memor → Memory Card]
[Copy]画面が表示されます。



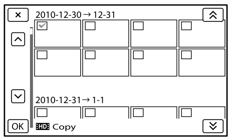
4 コピーの種類をタッチする。

[Multiple Images]：画像を選んでコピーする。
[All In Event]：指定したイベントの画像をまとめてコピーする。

5 コピーする画像の種類をタッチする。

6 コピーする画像を選ぶ。

[Multiple Images]：コピーする動画をタッチして、✔マークをつける。
複数選択できます。



- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 ✕ で選択画面に戻ります。

[All In Event]：コピーするイベントを選んで、 OK をタッチする。
複数のイベントは選べません。

7 OK → OK → OK をタッチする。

ちょっと一言

- コピーができているかを確認するには、[Media Select]でコピー先のメディアを設定して確認してください（26ページ）。
- 本機で撮影した画像を外付けメディアにもコピーできます（66ページ）。

動画を分割する

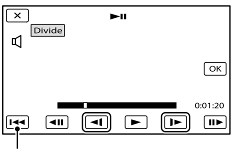
撮影した動画を分割することができます。不要な部分を削除するときなどに使います。

1 動画の再生中に表示されている ⇨ →［Divide］をタッチする。

2 ▶をタッチし、分割したいところで II をタッチする。

再生が一時停止します。

3 ◀II/II▶で分割位置を微調整する。



選んだ動画の先頭に戻る

4 OK → OK をタッチする。

ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- プロテクトされた動画は分割できません。分割するにはプロテクトを解除してください（60ページ）。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- メモリーカードに記録された動画の分割中はメモリーカードを抜かないでください。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- 本機では、簡易的な編集ができます。さらに編集する場合には、市販のソフトウエアをお使いください。

動画から静止画を作る

本機の内蔵メモリーに撮影した動画から静止画を作成できます。

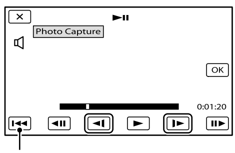
1 動画の再生中に表示されている ⇨ →［Photo Capture］をタッチする。

［Photo Capture］画面が表示されます。

2 ▶をタッチし、静止画にしたい場面で II をタッチする。

再生が一時停止します。

3 ◀II/II▶ で静止画を作成したい位置を微調整する。



選んだ動画の先頭に戻る

4 OK をタッチする。

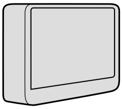
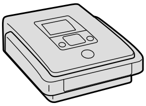
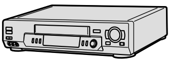
静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

ご注意

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
  - ハイビジョン画質（HD）のときは2.1M（16:9）
  - 標準画質（STD）でワイド（16：9）のときは0.2M（16:9）
  - 標準画質（STD）で4：3のときはVGA（0.3M）（4:3）
- 記録メディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

他機を使った保存のしかたを選ぶ

ハイビジョン画質(HD)で撮影した動画を保存する方法を説明します。機器に合わせて保存のしかたを選びましょう。

	他機	使うケーブル	ページ
	**外付けメディア** ハイビジョン画質(HD)で保存。	USBアダプターケーブル(付属)	66
	**ソニー製ブルーレイディスクレコーダー** ハイビジョン画質(HD)でブルーレイディスクレコーダーや、ディスクに保存。	USBケーブル(付属)	69
	**DVDirect Express以外のDVDライター** ハイビジョン画質(HD)または、標準画質(STD)でDVDに保存。	USBケーブル(付属)	70
	**HDDレコーダーなど** 標準画質(STD)でDVDに保存。	A/V接続ケーブル(付属)	71

標準画質(STD)で撮影した動画について

A/V接続ケーブルを使って、保存する機器と接続してください(72ページ)。

ご注意

- ハイビジョン画質(HD)で記録したDVDは、AVCHD規格に対応した機器で再生してください。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)を記録したDVDを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

保存できるメディアについて

57ページをご覧ください。

ディスクを再生できる機器は

ブルーレイディスク

ソニー製ブルーレイディスクプレーヤーや、プレイステーション3などのブルーレイディスク再生機器で再生できます。

ハイビジョン画質(HD)を保存したDVD

ソニー製のブルーレイディスクプレーヤーや、プレイステーション3などのAVCHD規格対応の再生機器で再生できます。

標準画質(STD)を保存したDVD

DVDプレーヤーなどの一般的なDVD再生機器で再生できます。

ご注意

- 「プレイステーション3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピューターエンタテイメントのウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jp.playstation.com/ps3/update/

外付けメディアを使って保存する

外付けハードディスクなどのメディアに、本機の動画・静止画を保存できます。また、保存した画像を本機などで再生して楽しめます。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（18ページ）。
- お使いの外付けメディアの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

- 外付けメディアに保存した画像は、付属のソフトウェア「Content Management Utility」で取り込むこともできます。

外付けメディアに保存後にできること

- 本機を経由した画像の再生（68ページ）
- パソコンへの取り込み（73ページ）

使用できない外付けメディアについて

次の機器は外付けメディアとして使えません。

- 容量が2TBを超える外付けメディア
- 一般のDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
- ハブを経由してつないでいる外付けメディア
- 内部にハブを構成している外付けメディア
- カードリーダー

ご注意

- 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
- ファイルシステムとしてFATを採用しています。NTFSなど他機でフォーマットされた外付けメディアの場合は、本機でフォーマットしてからお使いください。フォーマット画面は接続時に表示されます。また、FATのメディアでもフォーマット画面が表示されることがあります。接続する機器に大切なデータが残っていないことを確認したうえでフォーマットを行ってください。
- 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。

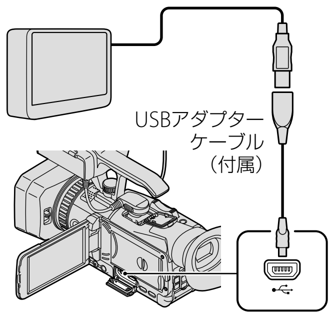
1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

3 USBアダプターケーブルと外付けメディアをつなぐ。

4 USBアダプターケーブルと本機のψ（USB）端子をつなぐ。

［Preparing image database file. Please wait.］が表示されている間はUSBケーブルを抜かないでください。
また、本機に［Repair Img. DB F.］画面が表示されたら、OKをタッチしてください。



5 外付けメディアと接続して、本機の画面で[Copy.]をタッチする。

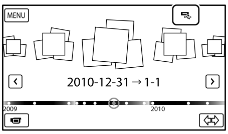
[Media Select]で設定されている記録メディアに記録した画像のうち、外付けメディアに保存されていない画像が保存されます。

- 本機に新たに記録した画像がない場合、できません。

6 終了するには本機の画面で OK をタッチする。

外付けメディアと接続中は

外付けメディアに保存した画像が、本機の画面に表示されます。外付けメディアに記録した画像ではイベントビューなどの画面でUSBアイコンが表示されます。



画像の削除など、外付けメディアに関する設定ができます。イベントビューで MENU(メニュー)→[Edit/Copy]をタッチしてください。

接続を終了するには

① 外付けメディアのイベントビューまたは、インデックスで をタッチする。
② USBアダプターケーブルを取り外す。

ご注意

- 外付けメディアに保存可能なシーン数は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があっても、これを超えて保存することはできません。
  - ハイビジョン画質(HD)の動画：最大3,999個
  - 標準画質(STD)の動画：9,999個
  - 静止画：最大40,000枚

  撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。

好みの動画・静止画を保存する

保存したい画像を選んで保存できます。

1 外付けメディアと接続して、[Play without copying.]をタッチする。

外付けメディアのイベントビューが表示されます。

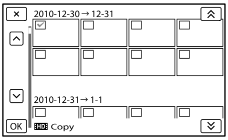
2 MENU(メニュー)→[Edit/Copy]→[Copy]をタッチする。

3 本機の画面にしたがって、記録メディアや画像の選択方法、画像の種別を選ぶ。

- 外付けメディアから本機へコピーすることはできません。

4 [Multiple Images]を選んだときは、保存したい画像をタッチする。

✔が表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。 ✕ で選択画面に戻ります。
- [All In Event]を選んだときは、⌃ / ⌄ でコピーするイベントを選んでください。複数のイベントは選べません。

5 本機で OK → OK → OK をタッチする。

外付けメディアの画像を本機で見る

1 外付けメディアと接続して、[Play without copying.]をタッチする。

外付けメディアの画像がイベントビュー画面で表示されます。

2 見たい画像を選んで再生する（34ページ）。

- 本機をテレビにつないで画像を楽しむこともできます（38ページ）。

接続中に[Direct Copy]を行うには

① 外付けメディアのイベントビューで MENU（メニュー）→[Edit/Copy]→[Direct Copy]をタッチする。
② [Copy images that have not been copied.]をタッチする。
③ OK → OK をタッチする。

ご注意

- 本機が外付けメディアを認識しないときは、次の操作を行ってください。
  - USBアダプターケーブルを差し直す。
  - 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って、ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングしたり、ディスクを作成したりできます。
お使いの機器によっては操作が異なる場合がありますので、レコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

使えるディスク

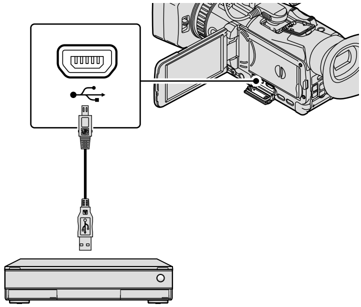
お使いのブルーレイディスクレコーダーによって使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

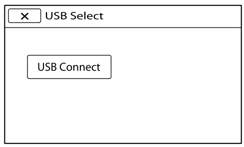
- お使いのブルーレイディスクレコーダーの種類によっては、USB端子が無い場合があります。その場合は、A/V接続ケーブルで接続してください。（72ページ）。
- [60p Quality PS]にして撮影した動画は、外付けメディアにのみ保存できます（66ページ）。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ（18ページ）。

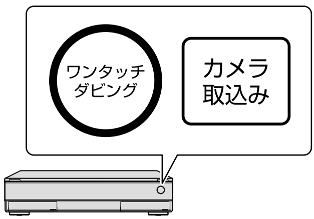
2 本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機の ψ（USB）端子とブルーレイディスクレコーダーをつなぐ。



3 本機の画面で、[USB Connect]をタッチする。



4 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ取込み」ボタンあるいは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。



カメラ取り込みがされていない画像が取り込まれます。

- ハイビジョン画質（HD）と標準画質（STD）両方の取り込まれていない動画がある場合は、ハイビジョン画質（HD）のみが取り込まれます。

• ボタンの位置や形状は、レコーダーの種類によって異なります。また、USB端子があっても上記のボタンが搭載されていないレコーダーもございます。詳しい操作方法は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

5 **終了するには、本機の画面で ✕ → OK をタッチする。**

6 **USBケーブルを取り外す。**

DVDirect Express以外のDVDライターでハイビジョン画質（HD）のディスクを作る

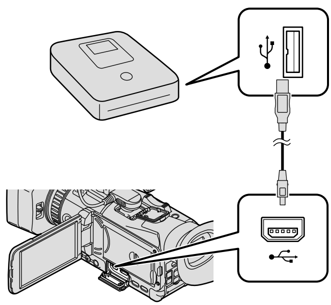
ハイビジョン画質（HD）対応のソニー製DVDライターと本機を、USBケーブルで接続します。DVDライターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

• DVDirect Expressは使えません。
• 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（18ページ）。
• ソニー製DVDirect（DVDライター）を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/dvdirect/

1 **ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ（18ページ）。**

2 **本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機の ψ（USB）端子とDVDライターをつなぐ。**



[USB Select]画面が表示されます。

- [USB Select]画面が表示されないときは、MENU(メニュー)→[Setup]→[⇄(Connection)]→[USB Connect]をタッチして表示させてください。

3 **本機の画面で、[USB Connect]をタッチする。**

4 **DVDライターで録画操作を行う。**

- 詳しくは、DVDライターの取扱説明書をご覧ください。

5 **ディスク作成が終わったら、本機の画面で ✕ → OK をタッチする。**

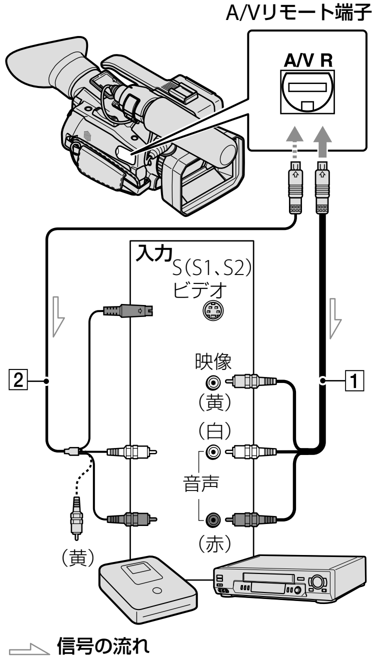
6 **USBケーブルを取り外す。**

レコーダーなどで標準画質(STD)のディスクを作る

本機をディスクレコーダーや、DVDirect Express以外のソニー製DVDライターなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像を他のディスクやビデオカセットへコピーできます。次図の1か2どちらかの方法で接続してください。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(18ページ)。
- ハイビジョン画質(HD)で記録された画像は、標準画質(STD)でコピーされます。



1 A/V接続ケーブル(付属)

2 S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売)

A/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

- 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル 1 (付属)、またはS映像端子付きA/V接続ケーブル 2 (別売)でつなぐ。

- 接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

ご注意

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングできません。
- 日時やカメラデータ、緯度経度データをダビングしたいときは、MENU (メニュー) → [Setup] → [▶(Playback Settings)] → [Data Code] → お好みの設定 → OK をタッチしてください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズに合わせて、「Down Convert Type」を「Squeeze」、「Letter Box」、または「Edge Crop」に設定してください(95ページ)。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

パソコンを使って保存する

パソコンの準備をする(Windows)

「Content Management Utility」を使うと次の操作ができます。
- パソコンへの画像の取り込み
- 取り込んだ画像の閲覧
- フラッシュバンドの検出/補正

パソコンで動画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROM「Content Management Utility」からインストールします。
画像の編集や、ディスク作成などを行う場合は、市販のソフトウェアをお買い求めください。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS*1
Microsoft Windows XP SP3*2/ Windows Vista SP2/Windows 7
CPU
ハイビジョン画質(HD)のうち、最高画質モードで録画した動画を再生するには、Intel Core 2 Duo 2.80GHz相当以上のCPUをお使いください。 ハイビジョン画質(HD)のうち、最高画質以外のモードで録画した動画については、この性能以下のCPUでも再生が可能な場合があります。また、ビデオカードの性能によっては、この性能以下のCPUでも、最高画質モードで録画したハイビジョン画質(HD)の動画を再生できる場合があります。 以下の場合は、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。 – 動画のコンピューターへの取り込み – 標準画質(STD)の動画のみを扱う場合
メモリー
Windows XP：512MB以上(1GB以上を推奨) Windows Vista/Windows 7：1GB以上
ハードディスク
インストールに必要なディスク容量： 約100MB 取り込み、閲覧登録できるファイルシステムは、NTFSまたはexFATのみです。
ディスプレイ
解像度1,024×768ドット以上
その他
USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)) (インストールにはCD-ROMドライブが必要)

*1 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
*2 64bit版は除きます。

ご注意
- すべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
- 付属のソフトウェア「Content Management Utility」はMacintoshに対応していません。

準備2 付属 ソフトウェア「Content Management Utility」を インストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「Content Management Utility」をインストールします。

1 パソコンに本機をつないでいないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限・コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM「Content Management Utility」(付属)をセットする。

インストール画面が表示されます。

- インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ](Windows XPの場合は[マイ コンピュータ])をクリックし、[SONYCMU(E:)](CD-ROM)をダブルクリックしてください。

4 アプリケーションをインストールする言語を選んで、[OK]をクリックする。

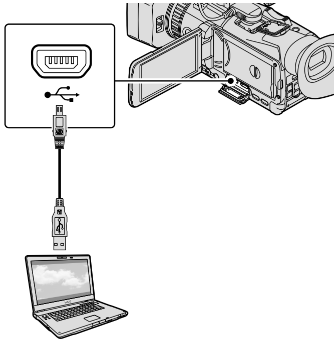
5 インストールウィザード画面が表示されたら[次へ]をクリックする。

6 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は[次へ]をクリックする。

7 インストール先を選択して[次へ]をクリックする。

8 デスクトップショートカットの作成を選択して[次へ]をクリックする。

9 本機の電源を入れ、USBケーブルで本機とパソコンをつなぐ。



10 本機の画面で[USB Connect]をタッチする。

- [USB Select]画面が表示されないときは、MENU(メニュー)→[Setup]→[⇄(Connection)]→[USB Connect]をタッチする。

11 [次へ]をクリックする。

12 パソコンの画面に従ってインストールする。

- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、手順8の選択によってデスクトップにアイコンが表示されます。



13 パソコンからCD-ROMを取り出す。

本機とパソコンの接続を終了するには

① パソコンのデスクトップ右下で、アイコン → [USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。



② 本機の画面で × →[Yes]をタッチする。
③ USBケーブルを取り外す。

本機で記録した画像をパソコンで扱う方法は

付属のCD-ROM「Content Management Utility」収録のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 長時間撮影した画像や編集した画像を取り込む場合は、付属の「Content Management Utility」を使ってください。それ以外のソフトを使うと正しく取り込めない場合があります。
- 長い時間撮影を行い動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されています。その為、録画後の記録メディア内を直接パソコンで見ると、複数のファイルに分割されて見える場合があります。
- 付属の「Content Management Utility」を使わずに取り込みをおこなうと、撮影中に2GBを超えて自動的に生成されたファイルがうまく連結できない場合があります。他の編集ソフトをご利用の場合でも、パソコンへの取り込みには、付属のソフトウェア「Content Management Utility」をお使いください。ファイルは連結されてパソコンに取込まれます。

メニューを使いこなそう

メニューを使いこなすことで、「撮る」「見る」「保存する」をさらに楽しめます。
本機のメニューは大きく6つのカテゴリーに分類されており、その下にさまざまなメニュー項目があります。

Shooting Mode（撮影の種類に関する設定）→ 81ページ

Camera/Audio（好みの撮影をするときの設定）→ 82ページ

Rec/Media SET（画質や記録メディアに関する設定）→ 91ページ

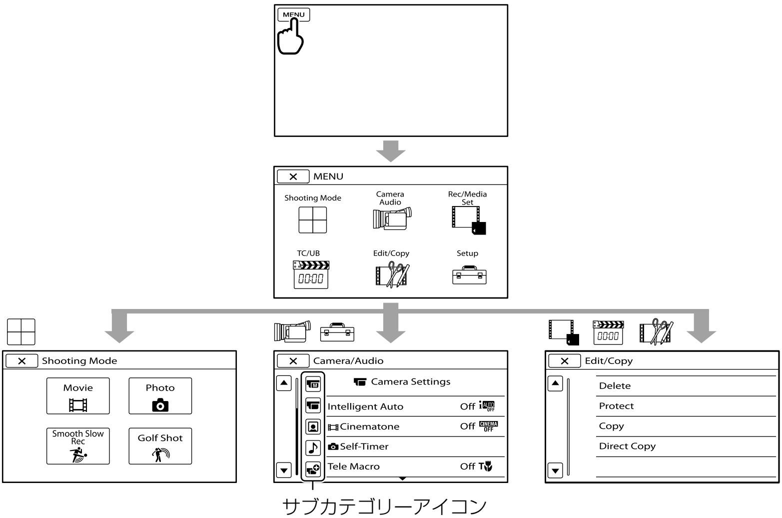
TC/UB（タイムコードやユーザービットの設定）→ 92ページ

Edit/Copy（編集に関する設定）→ 93ページ

Setup（その他のいろいろな設定）→ 94ページ

メニューの操作方法

メニューを設定するときは、以下の手順で行ってください。



- [Camera/Audio]、[Setup]にはサブカテゴリーがあります。サブカテゴリーアイコンをタッチすると、サブカテゴリーごとに移動します。
- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。

ご注意

- 本機の状態によっては、設定できないメニュー項目があります。
- メニューを終了する、または前のメニューに戻るには ✕ をタッチします。

メニュー一覧

「＊」がついている項目はマイボタンに登録できます（48ページ）。

Shooting Mode

Movie	動画を撮影する。	31
Photo	静止画を撮影する。	32
Smooth Slow Rec	なめらかなスローモーション映像を撮影する。	81
Golf Shot	2秒間の高速な動作を分割し、動画、静止画として記録する。	81

Camera/Audio

(Manual Settings)		
Gain*	ゲインを設定する。	50
AGC Limit	オートゲインコントロール（AGC）の上限を選ぶ。	82
White Balance*	ホワイトバランスを設定する。	51
Spot Focus*	画面中央から外れた被写体を基準にしてピントを合わせる。	82
Focus*	ピントを手動で設定する。	83
IRIS*	絞りを設定する。	83
Shutter Speed*	シャッタースピードを設定する。	83
AE Shift*	自動露出調整の明るさを調節する。	83
White Balance Shift*	ホワイトバランスを微調整する。	83
Low Lux	薄暗い場所で明るくカラーで撮影する。	83
(Camera Settings)		
Intelligent Auto	カメラが自動でシーンを選択する。	84
Cinematone	画質を調整して映画のような雰囲気で撮影する。	84
Self-Timer	セルフタイマーを使う。	84
Tele Macro	背景をぼかして、被写体をより際立たせる。	84
SteadyShot（動画）	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。	85
SteadyShot（静止画）	静止画撮影時の手ブレ補正を設定する。	85
Digital Zoom	デジタルズームを設定する。	85
Conversion Lens	コンバージョンレンズ（別売）を使うときに設定する。	85
Auto Back Light	自動で逆光補正をする。	85
NIGHTSHOT Light	NightShot撮影時に、より鮮明な画像を記録する。	86
Color Bar	カラーバーを表示する。	86
Color Bar Tone	音声トーン信号を出力する。	86
Date Rec	撮影日時を動画に埋め込む。	86

(Face)

Face Detection	人物の顔を検出する。	87
Smile Shutter	笑顔を検出すると自動で静止画を撮影する。	45、87
Smile Sensitivity	自動撮影する笑顔の検出感度を設定する。	87

(Audio)

HD Audio Format	記録音声フォーマットを切り換える。	87
Int. Mic. Sensitivity	内蔵マイク使用時の録音感度を設定する。	88
Int. Mic. Wind NR	内蔵マイクの風音低減を設定する。	88
Audio Output Timing	撮影時の音声出力タイミングを設定する。	88
Volume	再生時の音量、撮影時のヘッドホン音量を調節する。	88

(Shooting Assist)

My Button	マイボタンを登録する。	48
Histogram	ヒストグラムを表示する。	88
Zebra	明るさ調節のために輝度レベルを表示する。	88
Peaking	ピント合わせのために輪郭を強調する。	89
Marker	構図確認用のマーカーを表示する。	89
Camera Data Display	アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を表示する。	90
Audio Level Display	オーディオレベルメーターを表示する。	90

Rec/Media SET

HD/STD Setting	記録する動画の画質をハイビジョン（HD）/標準（STD）から設定する。	56
Media Select	記録メディアを選ぶ。	26
REC Mode	録画モードを設定する。	56
Frame Rate	フレームレートを設定する。	56
STD Wide Rec	標準画質（STD）で撮るときに横縦比を選ぶ。	91
Image Size	静止画の画像サイズを設定する。	91
Media Info	記録メディアの情報を表示する。	91
Format	記録メディアをフォーマットする。	57
Repair Img. DB F.	管理ファイルを修復する。	105、107
File Number	静止画のファイル番号のつけかたを選ぶ。	92

TC/UB

TC/UB Disp	タイムコード/ユーザービットの表示を切り換える。	47
TC Preset	タイムコードを設定する。	47
UB Preset	ユーザービットを設定する。	48
TC Format	タイムコードの記録方式を選ぶ。	92
TC Run	タイムコードの歩進を選ぶ。	93
TC Make	記録メディアへのタイムコードの記録方法などを選ぶ。	93
UB Time Rec	時刻をユーザービットにするかを選ぶ。	93

Edit/Copy

Delete	画像を削除する。	59
Protect	誤消去防止のため、画像をプロテクトする。	60
Copy	画像をコピーする。	61
Direct Copy	外付けメディアに画像をコピーする。	68

Setup

(Playback Settings)		
Data Code	撮影時に自動的に記録された情報を表示する。	94
(Connection)		
HDMI/Component	HDMI端子とコンポーネント端子に出力する画像のフォーマット(解像度)を設定する。	95
Down Convert Type	映像信号出力形式を設定する。	95
Disp Output	タイムコードなどの画面表示の出力先を設定する。	95
HDMI TC Output	HDMI接続した他機にタイムコード、ユーザービットデータを伝送する。	95
USB Connect	USBケーブルで接続する。	95
(General Settings)		
Beep	操作音を出す。	96
LCD Brightness	液晶画面の明るさを調節する。	96
VF Back Light	ファインダーの明るさを調節する。	96
Display Setting	液晶画面に画面表示が表示される時間を設定する。	96
GPS Information	測位情報を表示する。	96
GPS Setting	GPSを設定する。	97
REC Lamp	本体前面の録画ランプを消す。	97
Remote Ctrl	付属のワイヤレスリモコンを使えなくする。	97

Language Setting	画面表示の言語を選ぶ。	97
Calibration	タッチパネルを調整する。	121
Battery Info	バッテリー残量の目安を表示する。	98
Operation Time	本機を操作した累計時間を表示する。	98
(Clock Settings)		
Date & Time Setting	日時を設定する。	98
Area Setting	エリアを設定する。	20、98
Auto Clock ADJ	自動で時刻を補正する。	98
Auto Area ADJ	GPSから現在地情報を取得して自動で時刻を補正する。	98

Shooting Mode
（撮影の種類に関する設定）

メニューの操作方法は76ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

Movie（動画）

動画を撮影するモードにします。

Photo（静止画）

静止画を撮影するモードにします。

Smooth Slow Rec（なめらかスロー録画）

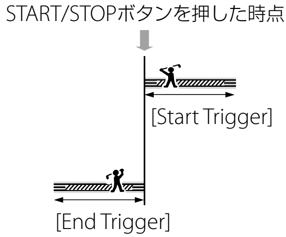
通常撮影では見ることができない高速な動作や現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。

[Smooth Slow Rec]画面でSTART/STOPボタンを押す。
約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。
[Recording…]が消えると記録が完了します。

記録を開始するタイミングを変更するには

/ をタッチして設定を選ぶ。

/ （タイミング）
START/STOPボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択します（お買い上げ時の設定は[Start Trigger]）。

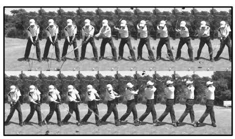


ご注意

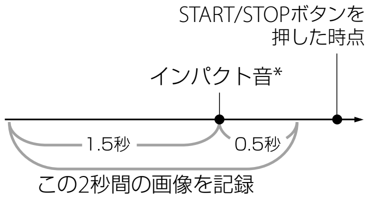
- 音声は記録できません。
- 画質は通常撮影時より劣化します。
- [REC Mode]は[Standard]となります。
- 標準画質（STD）に設定しているときは、[Smooth Slow Rec]の撮影はできません。

Golf Shot（ゴルフショット）

2秒間の高速な動作や現象を分割し、動画、静止画として記録します。再生すると一連の動作が表示されるので、ゴルフやテニスのフォームを確認するときなどに便利です。



[Golf Shot]画面で、被写体を画面中央の白いガイドフレーム内におさめてスイング直後にSTART/STOPボタンを押す。本機がインパクト音を検出すると、インパクト音を基準に記録される区間が自動調整されます。



* START/STOPボタンを押した時点から、過去1秒間で一番音量が大きい瞬間をインパクト音として検出。

ご注意

- 本機がインパクト音を検出できなかったときは、START/STOPボタンを押す前の約0.5秒の時点をインパクトの瞬間とみなし、その前1.5秒と後0.5秒の合計2秒間の動作を記録します。
- 静止画の画像サイズは1,920 × 1,080になります。
- 音声は記録できません。
- 画質は通常撮影時より劣化します。
- [録画モード]は[標準 HQ]となります。
- 標準画質（STD）に設定しているときは、[Golf Shot]の撮影はできません。

ちょっと一言

- セルフタイマーを設定するには、をタッチします。を[入]に設定した場合は、START/STOPボタンを押した後にタイマーのカウントダウンが始まります。カウントダウンが0になった時点をインパクトの瞬間とみなして、その前後の動作を記録します。
- 記録中に手ブレが発生した場合や、背景に動くものがある場合は、画像解析がうまくできずに、ノイズの多い映像になることがあります。三脚などを使って安定した状態で撮影することをおすすめします。
- 外部マイクやXLRアダプターを取り付けている場合も、インパクト音は内蔵マイクを使って検出されます。

Camera/Audio（好みの撮影をするときの設定）

メニューの操作方法は76ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

Gain（ゲイン）

50ページをご覧ください。

AGC Limit（AGCリミット）

オートゲインコントロール（AGC）の上限値を[OFF]（21dB、お買い上げ時の設定）、[18dB]、[15dB]、[12dB]、[9dB]、[6dB]、[3dB]、[0dB]から選べます。

ご注意

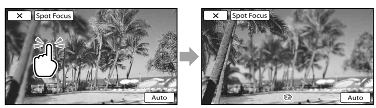
- ゲインを手動調節していると効果はありません。

White Balance（ホワイトバランス）

51ページをご覧ください。

Spot Focus（スポットフォーカス）

画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。



ピントを合わせたい被写体にタッチする。
自動ピント合わせに戻すには、[Auto]をタッチする。

ご注意

- [Focus]が自動的に[Manual]になります。

Focus（フォーカス）

タッチ操作でピントを手動調節（43ページ）します。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。



（近くにピント合わせ）/（遠くにピント合わせ）をタッチしてピントを調節する。
自動ピント合わせに戻すには、[Auto]をタッチする。

IRIS（絞り）

タッチ操作で絞り（49ページ）を設定します。

▶ Auto
自動で調節される。

Manual
手動で調節する。絞りを開くには－、絞りを閉じるには＋をタッチする。

Shutter Speed（シャッタースピード）

シャッタースピード優先で撮影します。シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体などを撮影するときなどに一瞬を切り出すことができ、遅くすると、水の流れなどを動きのある表現でとらえることができます。

▶ Auto
自動で調節される。

Manual
手動で調節する。

AE Shift（AEシフト）

自動露出調整の明るさを調節できます。

▶ Off
自動で調節される。

On（EVと設定した数値）
手動で調節する。
明るくするには＋、暗くするには－をタッチする。

White Balance Shift（ホワイトバランスシフト）

ホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。

▶ Off
自動で調節される。

On（WSと設定した数値）
手動で調節する。

ちょっと一言

- 数値を下げると画像が青みがかり、数値を上げると赤みがかります。

Low Lux

薄暗いところで明るくカラーで撮影できます。

▶ Off
Low Lux機能を使わない。

On
Low Lux機能を使う。

Intelligent Auto(おまかせオート撮影)

本機を撮影したい対象に向けると、顔認識、シーン認識、手ブレ検出の3種類の検出機能を組み合わせて、最適な撮影を行います。

▶ Off
自動でシーンを検出しない。

On
シーンなどを検出すると対応するアイコンが表示される。

顔認識

(人物)、(赤ちゃん)
顔を検出して、顔部分が最適になるようにフォーカス/色/露出を調節します。

シーン認識

(逆光)、(風景)、(夜景)、(スポットライト)、(低照度)、(マクロ)
撮影シーンに合わせて、最適な撮影設定に切り替わります。

手ブレ検出

(歩き)、(三脚)
手ブレの状態を感知して、撮影に最適な設定に切り替わります。

ご注意

- 撮影状況によっては、認識や検出が希望どおりに働かない場合があります。

Cinematone(シネマトーン)

画質を調整して映画のような雰囲気で動画の撮影ができます。

▶ Off
シネマトーン機能を無効にする。

On
シネマトーン機能を有効にする。

ご注意

- 切り換え時には、一時的に映像が停止します。

Self-Timer(セルフタイマー)

PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。

▶ Off
セルフタイマーを解除する。

On()
セルフタイマーで撮影する。セルフタイマーを中止するには、をタッチする。

Tele Macro(テレマクロ)

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

▶ Off
近接撮影を解除する。(または、ズームを広角(W側)にすると解除される。)

On(T)
ズーム(42ページ)が自動で望遠(T側)になり、約32cmまでの近接撮影ができる。



ご注意

- 被写体が遠いときにはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。

• ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（[Focus]、83ページ）。

SteadyShot（ 手ブレ補正）

手ブレを補正して撮影できます。
三脚（別売）を利用するときは、[Off]（ ）にすると自然な画像になります。

▶ **Standard**
比較的安定した状態で、より広角で撮影する。

Active（ ）
強い手ブレ補正効果を得る。

Off（ ）
手ブレ補正機能を使わない。

ご注意
• [SteadyShot]の設定を変更すると、画角が変わります。
• [SteadyShot]が[Active]のときは、14倍ズームになります。

SteadyShot（ 手ブレ補正）

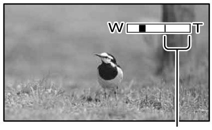
手ブレを補正して撮影できます。
三脚（別売）を利用するときは、[Off]（ ）にすると自然な画像になります。

▶ **On**
手ブレ補正機能を使う。

Off（ ）
手ブレ補正機能を使わない。

Digital Zoom（デジタルズーム）

デジタルズームの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。



[120x]を選ぶと表示されます。

▶ **Off**
10倍光学ズーム

120x
最大120倍までのデジタルズーム

ご注意
• [SteadyShot]が[Active]のときは、14倍ズームになります。

Conversion Lens（コンバージョンレンズ）

本機に対応しているコンバージョンレンズ（別売）を使用する場合に設定します。コンバージョンレンズに合わせて、手ブレ補正とフォーカスが最適化されます。

▶ **Off**
コンバージョンレンズを使わない。

Wide Conversion（ ）
ワイドコンバージョンレンズを使う。

Tele Conversion（ ）
テレコンバージョンレンズを使う。

Auto Back Light（自動逆光補正）

自動で逆光補正をします。

▶ **On**
自動で逆光補正を行う。

Off
逆光補正を行わない。

NIGHTSHOT Light (NIGHTSHOT ライト)

NightShot(45ページ)撮影時に赤外線を発光するライトで、よりはっきりとした画像を記録できます。

▶ On
赤外線ライトを発光する。

Off
発光しない。

ご注意

- 赤外線発光部(45ページ)を指などで覆わないでください。
- レンズカバー付きフード(付属)は、赤外線発光の妨げとなるため、取り外してください。
- コンバージョンレンズ(別売)は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

Color Bar(カラーバー)

動画撮影モードでカラーバーを表示したり、記録したりすることができます。本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。

▶ Off
表示しない。

On
カラーバーを表示する。

ご注意

- 静止画撮影/再生モードに切り換えたり、電源を切ったりすると、自動的に[Off](お買い上げ時の設定)に戻ります。
- 録画中、拡大フォーカス中は[Color Bar]の設定を変更できません。

Color Bar Tone(カラーバートーン)

[Color Bar]を[On]に設定して、[Color Bar Tone]を[On]に設定すると、音声トーン信号(1kHz:フルビット　-20dB)を出力します。

▶ Off
出力しない。

On
音声トーン信号を出力する。

Date Rec(日付記録)

インターレース方式(56ページ)で記録するときに、撮影日時を動画データに埋め込みます。

▶ Off
撮影日時を埋め込まない。

On
撮影日時を埋め込む。

ご注意

- 次のときは[Date Rec]は設定できません。
  - [Frame Rate]が60pまたは24pのとき
  - [Smooth Slow Rec]
  - [Golf Shot]
  - [Color Bar]が[On]のとき
- [Date Rec]が[On]のとき、次の機能は使えません。
  - デュアル記録
  - [Histogram]

Face Detection（顔検出）

人物の顔検出と優先する被写体の設定を選びます。選んだ被写体の顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。また、ハイビジョン画質（HD）のときはさらに、顔部分が細密な画像になるように調整します。

▶ **Auto**
大人、子どもの区別なく、顔を検出する。

Child Priority
子どもの顔を優先的に検出する。

Adult Priority
大人の顔を優先的に検出する。

Off（）
顔検出をしない。

ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は、[Face Detection]を[Off]にしてください。
- 次のとき、[Face Detection]は[Off]になります。
  - [IRIS]/[Gain]/[Shutter Speed]の全てがマニュアル設定されている。
  - [White Balance]が[Auto]以外に設定されている。

ちょっと一言

- 顔検出をしやすくするためには以下のような状況で撮影してください。
  - 適度に明るい場所で撮影する
  - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
  - 顔をカメラ正面に向ける
- 液晶画面に表示された顔枠にタッチして優先する被写体を選んだ場合は、二重枠が表示されている被写体が優先になります（44ページ）。

Smile Shutter（スマイルシャッター）

笑顔を検出すると自動で静止画を撮影します。

▶ **Dual Capture**
動画録画中のみ笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影する。

Always On
静止画撮影可能状態時に笑顔を検出して自動的に静止画を撮影する。

Off（）
笑顔を検出しないため、静止画を自動撮影しない。

ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。

Smile Sensitivity（スマイル検出感度）

自動撮影する笑顔の検出感度を設定します。

Slight Smile
ほほ笑み程度で検出する。

▶ **Normal Smile**
普通の笑顔で検出する。

Big Smile
大笑いで検出する。

HD Audio Format（HD 録音フォーマット）

ハイビジョン画質（HD）時の記録音声フォーマットを切り換えます。

▶ **Linear PCM（♪LPCM）**
リニアPCM方式で記録する。

Dolby Digital
ドルビーデジタル方式で記録する。

ご注意

- 標準画質（STD）の撮影では音声記録は[DOLBY DIGITAL]に固定されます。

Int. Mic. Sensitivity（内蔵マイク感度）

内蔵マイク使用時の録音感度を設定します。

▶ Normal
業務用機器で一般的に使われる感度。

High
民生用機器で一般的に使われる感度。

Int. Mic. Wind NR（内蔵マイク風音低減）

内蔵マイクで入力音声の低域音をカットして、風音低減をします。

▶ Off
風音低減を行わない。

On（）
風音低減を行う。

Audio Output Timing（音声出力タイミング）

撮影時の音声出力タイミングを設定できます。

▶ Live
撮影時に聞こえる実際の音と、ヘッドホンを通して聞こえる音の差によるエコーを防ぐ。

Lip Sync
撮影時に起こる映像信号の遅延に合わせて音声も遅延させ、違和感を防ぐ

Volume（音量）

/をタッチして音量を調節できます。

My Button（マイボタン登録）

48ページをご覧ください。

Histogram（ヒストグラム）

タッチ操作でヒストグラム（47ページ）を設定します。

▶ Off
表示しない。

On
輝度レベル100のラインを表示する。

On[Zebra Point]
[Zebra]で設定した輝度レベルと、輝度レベル100のラインを表示する。

Zebra（ゼブラ）

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分にしま模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。ゼブラは記録されません。

▶ Off
表示しない。

On
とレベルを表示する。

Level

輝度レベルを70 ～ 100または100+から選ぶ（お買い上げ時の設定は［70］）。

ご注意

- 100IRE以上の部分は白とびすることがあります。

ちょっと一言

- IRE(Institute of Radio Engineer)とは、基準レベルを0(％)とし、完全なレベルを100(％)としたときの単位です。

Peaking（ピーキング）

■ On/Off

［On］に設定すると PEAKING が現れ、画面上に画像の輪郭が強調して表示されるので、ピントが合わせやすくなります（お買い上げ時の設定は［Off］）。

■ Color

ピーキングの色を［White］、［Red］、［Yellow］から選べます（お買い上げ時の設定は［White］）。

■ Level

ピーキング感度を［High］、［Middle］、［Low］から選べます（お買い上げ時の設定は［Middle］）。

ご注意

- メディアへの記録画像は輪郭強調されません。

ちょっと一言

- 拡大フォーカス（44ページ）と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。

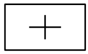
Marker（マーカー）

■ On/Off

［On］にするとマーカーが表示されます（お買い上げ時の設定は［Off］）。
マーカーは記録メディアに記録されません。

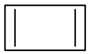
■ Center

［On］にすると画面の中心にマーカーを表示する（お買い上げ時の設定は［On］）。



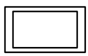
■ Aspect

［4:3］のアスペクト比位置にマーカーを表示する（お買い上げ時の設定は［Off］）。



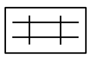
■ Safety Zone

［80%］または［90%］を選ぶと、一般的な家庭用テレビで受像できる範囲を選んでマーカーを表示する（お買い上げ時の設定は［Off］）。



■ Guide Frame

［On］にするとフレームを表示して被写体が水平/垂直になっているかを確認できる（お買い上げ時の設定は［Off］）。



ご注意

- マーカー表示中は、［Disp Output］の設定を［V-Out/Panel］にしていても、タイムコード以外は何も出力されません。

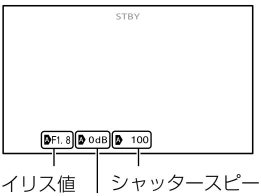
- 以下のとき、マーカーを表示できません。
  - 拡大フォーカス中
  - [Smooth Slow Rec]中
  - 電源入時の日時表示
- マーカー表示は、LCDパネルとファインダーのみに表示されます（外部に出力することはできません）。

ちょっと一言

- すべてのマーカーを同時に表示できます。
- [Guide Frame]の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

Camera Data Display（カメラデータ表示）

[On]にするとアイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を常に表示します（お買い上げ時の設定は[Off]）。

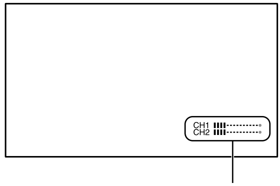


ちょっと一言

- カメラデータ表示の設定に関わらず、マニュアル設定時は設定値が表示されます。
- A は自動設定されていることを示します。
- リモコンのDATA CODEボタンを押したときに表示される項目とは異なります（132ページ）。

Audio Level Display（音声レベル表示）

画面にオーディオレベルメーターが表示されます（お買い上げ時の設定は[On]）。



Rec/Media SET（画質や記録メディアに関する設定）

メニューの操作方法は76ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

HD/STD Setting（HD / STD 設定）

56ページをご覧ください。

Media Select（メディア切換）

26ページをご覧ください。

REC Mode（録画モード）

56ページをご覧ください。

Frame Rate（フレームレート）

56ページをご覧ください。

STD Wide Rec（STD ワイド変換）

標準画質（STD）で記録するときに、つなぐテレビの画像の横縦比に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶ **16:9 WIDE**
ワイド（16:9）テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3（4:3）
4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて［Down Convert Type］を正しく設定してください（95ページ）。

Image Size（画像サイズ）

撮影する静止画のサイズを選びます。

▶ **16:9 12.3M（12.3M）**
最高画質をワイド（16:9）で撮影する（4,672 × 2,628）。

4:3 9.2M（9.2M）
最高画質で撮影する（3,504 × 2,628）。

4:3 3.3M（3.3M）
鮮明な画像を撮影する（2,112 × 1,584）。

4:3 VGA(0.3M)（VGA）
たくさんの画像を撮影する（640 × 480）。

ご注意

- 設定した画像サイズは、（静止画）ランプ点灯時に有効です。
- 撮影可能枚数は112ページをご覧ください。

Media Info（メディア情報）

動画の記録メディアの録画モードごとの録画可能時間や、記録メディアの使用領域と空き領域の目安を確認できます。

終了するには

× をタッチする。

ご注意

- 管理ファイル用領域があるため、［Format］（57ページ）を行っても、使用領域の表示は0%になりません。

ちょっと一言

- ［Media Select］（26ページ）で設定している記録メディアの情報を表示できます。必要に応じて記録メディアを切り換えてください。

Format（フォーマット）

57ページをご覧ください。

Repair Img. DB F.(管理ファイル修復)

105、107ページをご覧ください。

File Number(ファイル番号)

静止画のファイル番号の付けかたを選びます。

▶ **Series**
静止画のファイル番号を連続して付ける。撮影するたびに画像のファイル番号が大きくなります。
メモリーカードを取り換えた場合も、ファイル番号は連続して付きます。

Reset
記録メディアに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。
メモリーカードを取り換えた場合は、メモリーカードごとにファイル番号が付きます。

TC/UB(タイムコードやユーザービットの設定)

TC/UB Disp

47ページをご覧ください。

TC Preset

47ページをご覧ください。

UB Preset

48ページをご覧ください。

TC Format

タイムコードの記録方式を選びます。

▶ **DF**
タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF
タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

ご注意

- HD 1080/24pで記録するときは、[NDF]に固定されます。

ちょっと一言

- タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC Run

タイムコードの歩進を選びます。

▶ Rec Run
記録中のみタイムコードが歩進する。
最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

Free Run
本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

ご注意

- [Rec Run]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
  - 録画フォーマットを切り換えたとき
  - 記録メディアを取り外したとき

TC Make

▶ Preset
新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する。

Regenerate
記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。
[TC Run]の設定に関係なく、タイムコードは[Rec Run]モードで歩進する。

UB Time Rec

▶ Off
時刻をユーザービットコードとして記録しない。

On
時刻をユーザービットコードとして記録する。

ご注意

- [On]のときは、下位2桁は00に固定されます。

Edit/Copy（編集に関する設定）

メニューの操作方法は76ページをご覧ください。

Delete（削除）

59ページをご覧ください。

Protect（プロテクト）

60ページをご覧ください。

Copy（コピー）

61ページをご覧ください。

Direct Copy（ダイレクトコピー）

68ページをご覧ください。

Setup
（その他のいろいろな設定）

メニューの操作方法は76ページをご覧ください。

Data Code（日時/データ表示）

撮影時に自動的に記録された情報（日付時刻データやカメラデータ、緯度経度データ）を再生時に確認できます。

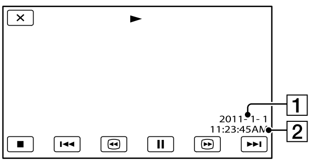
▶ **Off**
日付時刻データやカメラデータ、緯度経度データを表示しない。

Date/Time
記録した画像の日付・時刻データを表示する。

Camera Data
記録した画像のカメラデータを表示する。

Coordinates
記録した画像の緯度経度データを表示する。

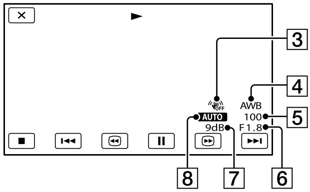
Date/Time



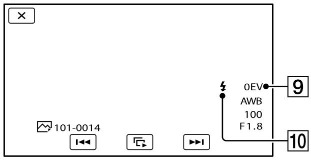
1 日付
2 時刻

Camera Data

動画

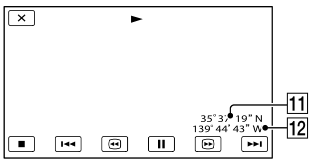


静止画



3 手ブレ補正切
4 ホワイトバランス
5 シャッタースピード
6 絞り値
7 ゲイン
8 明るさ調節
9 露出
10 フラッシュ

緯度経度データ



11 緯度
12 経度

ちょっと一言

- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのDATA CODEボタンを押すたびに、[Date/Time]→[Camera Data]→[Coordinates]→[Off]（表示なし）と切り替わります。
- 記録メディアの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

HDMI/Component ⇄

HDMI端子とコンポーネント端子への出力画像のフォーマット(解像度)を設定できます。

1080p/480i

720p/480i

▶ 1080i/480i

480p

480i

Down Convert Type(ダウンコンバートタイプ) ⇄

映像信号出力形式を設定します。
16:9で撮影された動画や、静止画を出力する際に有効です。

▶ **Squeeze**
画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

Letter Box
垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

Edge Crop
画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

ご注意

- [STD Wide Rec]を[16:9 WIDE]にして標準画質(STD)で撮影した動画を4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのままで、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、[Letter Box]または[Edge Crop]に設定してください。
- [Squeeze]からその他の設定、その他の設定から[Squeeze]に切り換えるときに、一時画面が消えて、画像と音声が途切れます。

Disp Output(画面表示出力) ⇄

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ **LCD Panel**
ファインダーと液晶画面に出力する。

V-Out/Panel
テレビ画面とファインダー、液晶画面に出力する。

ご注意

- [Marker]が[On]で、画面に表示されているときは、タイムコード以外は何も出力されません。

HDMI TC Output(HDMI TC出力) ⇄

HDMI接続した他機にタイムコード、ユーザービットデータを伝送できます。

▶ **Off**
タイムコード、ユーザービットコードを出力しない。

On
タイムコード、ユーザービットコードを出力する。

USB Connect(USB接続) ⇄

USBケーブルで本機と接続機器をつないでも[USB Select]画面が表示されない場合に使います。

Beep(操作音)

▶ Off
メロディ、シャッター音を鳴らさない。

On
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

LCD Brightness (パネル明るさ)

パネルの明るさを調節できます。

▶ Normal
通常の設定(標準の明るさ)。

Bright
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ちょっと一言

• 録画される画像に影響ありません。

VF Back Light(VFバックライト)

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ Normal
通常の設定(標準の明るさ)。

Bright
ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意

• コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[Bright]になります。
• [Bright]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

Display Setting(画面表示設定)

液晶画面に画面表示が表示される時間を設定します。

▶ Auto
画面表示を約3秒間だけ表示する。撮影画面で液晶画面横に録画/ズームボタンを表示する。

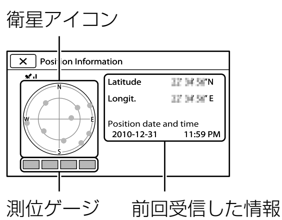
On
画面表示を常時表示する。撮影画面で液晶画面横に録画/ズームボタンを表示しない。

ちょっと一言

• 次の操作をすると、画面表示が再表示されます。
  – 本機の電源を入れたとき
  – DISPLAYボタンを押したとき
  – 液晶画面をタッチしたとき(液晶画面横の録画/ズームボタンを除く)
  – 動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えたとき

GPS Information(GPS情報)

測位情報を表示します。



取得情報の見かた

衛星表示/測位ゲージの色	状態
●/■(黒)	信号なし/軌道情報あり
●/■(グレー)	軌道情報33%取得済み
●/■(茶色)	軌道情報66%取得済み
○/□(黄土色)	軌道情報99%取得済み
○/□(緑)	測位利用中

位置情報が受信できなかったときは

測位優先モードが起動します。他の機能を停止して衛星を探索するので測位情報を受信しやすくなります。

測位情報画面を閉じるには

✕ をタッチする。

GPS Setting

GPS信号を受信するか、受信しないかを切り換えます（46ページ）。

▶ On
GPS信号を受信する。

Off
GPS信号を受信しない。

REC Lamp（録画ランプ）

撮影中に本体前面の録画ランプが点灯しないように設定できます。

▶ On
点灯する。

Off
点灯しない。

Remote Ctrl（リモコン）

▶ On
付属のワイヤレスリモコン（132ページ）を使う。

Off
他機のリモコンによる誤動作を防ぐため、リモコンは使わない。

ちょっと一言

• [Off]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

Language Setting

▶ English
メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

日本語
メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

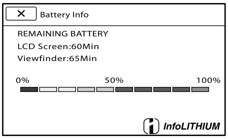
ENG[SIMP]
メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

Calibration（キャリブレーション）

121ページをご覧ください。

Battery Info（バッテリーインフォ）

装着しているバッテリー残量の目安を確認できます。



終了するには画面左上の ✕ ボタンをタッチしてください。

Operation Time（通電時間）

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。

Date & Time Setting（日時設定）

■ Date & Time Format

年-月-日の表示順を4種類の表示順の中から選べます。

■ Summer Time

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[Summer Time]を[On]にすると、時計が1時間進みます。

▶ **Off**
サマータイムに設定しない。

On
サマータイムに設定する。

■ Date & Time

20ページをご覧ください。

Area Setting（エリア設定）

時計を止めることなく時差補正ができます。本機を使用する場所に適した時刻に合わせすことができます。「世界時刻表」（115ページ）もご覧ください。

ちょっと一言

- [Auto Area ADJ]が[On]の場合、GPSにより自動的に現地時間に設定されます。

Auto Clock ADJ（自動時刻補正）

GPSから時刻を取得して、正確な時刻を維持します。

▶ **On**
自動で時刻を補正する。

Off
自動で時刻を補正しない。

ご注意

- 日時合わせ（20ページ）をしておいてください。
- [Auto Clock ADJ]は、数秒の誤差が生じることがあります。
- [Auto Clock ADJ]は、本機の起動中にGPS信号を受信して測位に成功したときに時刻を補正します。一度補正したら次の起動まで行いません。
- 地域によっては、[Auto Clock ADJ]が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を[切]にしてください。

Auto Area ADJ（自動エリア補正）

GPSから現在地情報を取得して、時差を検出した場合、自動で補正します。

▶ **On**
自動で時差を補正する。

Off
自動で時差を補正しない。

ご注意

- 日時合わせ（20ページ）をしておいてください。
- ［Auto Area ADJ］は、時差を検出した場合に自動で時差補正を行います。
- 地域によっては、［Auto Area ADJ］が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を［Off］にしてください。

故障かな?と思ったら

困ったときは、下記の流れに従って対応してください。

① 100 ～ 110ページの項目をチェックし、本機を点検する。

▼

② 電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。

▼

③ RESETボタン(129ページ)を先の細いもので押してから電源を入れる。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

▼

④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。

- 修理内容によっては内蔵メモリーのフォーマットまたは交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモリー内のデータを保存(バックアップ)してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

全体操作・リモコン

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(16ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(16ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタン(129ページ)を先の細いもので押す(すべての設定が解除されます)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動してしばらくしてから電源を入れる。

メニュー項目の設定が変わっている。

- おまかせオート中は、画質に関わる設定が自動的に設定されます。
- 次のメニュー項目は、動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えると、お買い上げ時の設定に戻ります。
  - [📷 Self-Timer]
  - [Tele Macro]

本機が温かくなる。

- 本機を使用中に本機が温かくなることがありますが、故障ではありません。

本機を振ると音がする。

- 電源を入れて撮影モードで振ったときに音がしなければ内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

おまかせオートが解除される。

- 次の設定を変更するとおまかせオートは解除されます。
  - [Smooth Slow Rec]
  - [Golf Shot]
  - [White Balance]
  - [Spot Focus]
  - [Focus]
  - [Low Lux]
  - [Cinematone]
  - [Tele Macro]
  - [SteadyShot]
  - [SteadyShot]
  - [Auto Back Light]
  - [Face Detection]
  - Nightshot
  - AUTO/MANUALスイッチを「MAN」にする
  - [AE Shift]
  - [White Balance Shift]
  - [Iris]
  - [Gain]
  - [Shutter Speed]
  - [AGC Limit]

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [Remote Ctrl]を[On]にする（97ページ）。
- 電池の＋極と－極を正しく入れる（132ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- レンズカバー付きフード（付属）は取り外してください。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- ズーム操作などに対して反応が遅くなる場合があります。
- 本体側のREMOTE端子を挿したままの状態で 接続機器側の端子を抜いた場合は、本体の設定に戻らない場合がありますので本体側のREMOTE端子を抜いてください。

バッテリー・電源

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する（16ページ）。

バッテリーの充電中、CHG（充電）ランプが点灯しない。

- POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする（16ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（16ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している（16ページ）。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります(119ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(16ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(120ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(120ページ)。

液晶画面・ファインダー

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できない状態です。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- DISPLAYボタンを押す(23ページ)。

タッチパネルのボタンが操作できない、または正しく操作できない。

- タッチパネルを調節(キャリブレーション)する(121ページ)。

タッチパネルのボタンがすぐに消えてしまう。

- [Display Setting]を[On]にする(96ページ)。

パネルに格子状の点が見える

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを動かす(24ページ)。

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面を開いているとファインダーには画像は映りません。液晶画面を閉じる(23ページ)。
- ファインダーを常に点灯させることはできません。

メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機でフォーマットする(57ページ)。

メモリーカードの画像が削除できない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトをかけた画像は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う（118ページ）。

撮影

「メモリーカード」（102ページ）もご覧ください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。MODEボタンを押して、（動画）ランプまたは（静止画）ランプを点灯させる（31、32ページ）。
- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 記録メディアの空き容量がない。不要な画像を削除する（59ページ）。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている（111、112ページ）。不要な画像を削除する（59ページ）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

静止画を撮影できない。

- 次の設定のとき、静止画を記録できません。
  - [Smooth Slow Rec]
  - [Golf Shot]
- [録画モード設定]や[フレームレート設定]によっては、動画撮影モードで静止画の撮影はできません。

撮影を止めてもACCESSランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります（111ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

動画の横縦比（16:9/4:3）が切り換えられない。

- ハイビジョン画質（HD）のときは、動画の横縦比は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- [Focus]を[Auto]にする（83ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（83ページ）。

手ブレ補正ができない。

- [SteadyShot]を[Active]または[Standard]、[SteadyShot]を[On]にする（85ページ）。
- [SteadyShot]が[Active]または[Standard]、[SteadyShot]が[On]になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MAN」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- シャッタースピード（50ページ）が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画像の色が正しくない。

- NightShotを解除する（45ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NightShotを解除する（45ページ）。

横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [SteadyShot]を[Active]以外に設定する（85ページ）。
- シャッタースピードを調節する（50ページ）。

[パネル明るさ]を調節できない。

- 次のとき、[LCD Brightness]は調節できません。
  - 液晶画面を外側に向けて本体に収めているとき
  - ACアダプターを使用しているとき

音声が正しく記録されない。

- 動画記録中に外部マイクなどを抜いた場合、音声が正しく記録されない場合があります。
- 動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。

タイムコードがつながらない。

- [HD/STD Setting]や[Frame Rate]で設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

再生

画像を再生できない。

- 再生したい画像が入っている記録メディアを選ぶ（26ページ）。
- 再生したい画像の記録画質（ハイビジョン/標準）を選ぶ（56ページ）。
- 他機で撮影した動画・静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります（ファイル名が点滅）。故障ではありません。

サムネイル画像の代わりに ? が表示される。

- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した画像などはこのように表示されることがあります。
- 撮影後に液晶画面右上の記録メディアアイコン点灯中や、ACCESSランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーを外した。この操作をすると、画像データが壊れて ? が表示されることがあります。

サムネイル画像の代わりに [アイコン] が表示される。

- 管理ファイルが壊れている。MENU（メニュー）→[Rec/Media SET] →[Repair Img. DB F.] →記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。それでも消えない場合は [アイコン] が表示されている画像を削除する（59ページ）。

音声が小さい、または聞こえない。

- 音量を大きくする（36ページ）。
- [Smooth Slow Rec]、[Golf Shot]で、音声は記録できません。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

他機でのメモリーカード再生

再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機器がメモリーカードの再生に対応していません（3ページ）。

本機での編集

編集できない。

- 動画の状態により編集ができなくなっている。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- プロテクトをかけた動画は分割できません。

動画から静止画を作成できない

- 静止画を記録する記録メディアの容量が足りない。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- コンポーネントA/Vケーブルを使うときは、接続する機器に合わせて[HDMI/Component]を正しく設定する（95ページ）。
- コンポーネントプラグだけでつないでいるため。コンポーネントA/Vケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（38ページ）。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像は、HDMI出力端子から出力できません。
- S（S1、S2）映像プラグだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（41ページ）。

テレビにつないで再生すると、画面の上下左右が若干切れて表示される。

- 本機の液晶画面は記録エリア全体を表示できるフルピクセル表示のため、フルピクセル表示に対応していないテレビにつないで再生すると画面の上下左右が若干切れて表示されます。
- [Safety Zone]（89ページ）の外側の枠を目安に撮影する。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド（16:9）で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[Down Convert Type]を正しく設定して再生する（95ページ）。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- ワイド（16:9）で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

ダビング・外部機器接続

ダビングできない。

- HDMIケーブル（別売）を使ってのダビングはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する（71ページ）。

パソコンとの接続

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンからケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

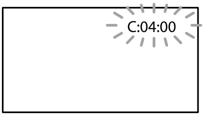
- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むには付属のソフトウェアのインストールが必要です（73ページ）。

パソコンがハングアップする。

- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

自己診断・警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。



C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□
- “インフォリチウム”バッテリー Vシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリー Vシリーズを使う（119ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（16ページ）。

C:06:□□
- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□ / C:32:□□
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□
- 100ページの手順②からお試しください。

（バッテリー残量に関する警告）

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがあります。

（バッテリーの温度に関する警告）

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

（メモリーカード関連の警告）

遅い点滅
- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、27ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない（26ページ）。

速い点滅
- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存（バックアップ）してから（64ページ）、メモリーカードをフォーマットする（57ページ）。
- 管理ファイルが壊れている。MENU（メニュー）→[Rec/Media SET]→[Repair Img. DB F.]→記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。
- メモリーカードが壊れている。

（メモリーカードのフォーマット関連の警告）

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しくフォーマットされていない（57ページ）。

（非対応メモリーカード関連の警告）

- 本機では使えないメモリーカードを入れた（27ページ）。

（メモリーカード誤消去防止に関する警告）

- メモリーカードの誤消去防止スイッチが書き込み禁止になっている。

- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

(外付けメディア関連の警告)

- 管理ファイルが壊れている。
- MENU（メニュー）→［Rec/Media SET］→［Repair Img. DB F.］→記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。
- 外付けメディアが壊れている。

(外付けメディアのフォーマット関連の警告)

- 外付けメディアが壊れている。
- 外付けメディアが正しくフォーマットされていない。

(手ブレ警告)

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

(静止画撮影に関する警告)

- メディアの空き容量がない。
- 処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。
- ［REC Mode］を［Highest Quality FX］、［60p Quality PS］に設定しているときは、動画記録中に静止画の撮影はできません。また、［Frame Rate］を［24p］に設定しているときは、動画撮影モードで静止画を撮影できません。

ちょっと一言

- メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

記録メディア

Cannot recognize the internal memory. Format and use again.

- 本機の内蔵記録メディアが、出荷時と異なるフォーマットになっている。[Format]（57ページ）を行うと使えることがあります。その場合データはすべて消去されます。

Data error.

- 本機の内蔵記録メディアへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。
- メッセージの前にGPSアイコンが付いている場合は、GPS受信機に問題が起きている可能性がある。本機の電源を入れ直す。
- 本機に振動を与えつづけたときに、発生することがあります。
- 他機で撮影した動画は再生できないことがあります。

Inconsistencies found in image database file. Do you want to repair the image database file? Inconsistencies found in image database file. Cannot record or play HD movies. Do you want to repair the image database file?

- 管理ファイルが破損しているので、動画・静止画撮影ができません。[OK]をタッチして修復する。

Inconsistencies found in the image database file. Back up and recover. Recover, then import using the included PC software.

- ハイビジョン画質（HD）の動画の管理情報が破損し、管理ファイルとの間に不整合が発生しています。[OK]をタッチするとハイビジョン画質（HD）の動画をバックアップして管理ファイルを修復します。バックアップされた動画は本機では認識できません。
修復したあと本機を付属のソフトウェア「Content Management Utility」をインストールしたパソコンとつなぐと、バックアップされたハイビジョン画質（HD）の動画をパソコンに取り込むことができます。
ただし、すべての動画の取り込みを保証するものではありません。

Buffer overflow. Writing to the media was not completed in time.

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直す（57ページ）。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください（27ページ）。

Recovering data.

- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

Cannot recover data.

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

Reinsert the memory card.

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

Cannot recognize this memory card. Format and use again.

- メモリーカードを本機でフォーマットする（57ページ）。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

Still picture folder is full. Cannot record still pictures.

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- フォーマットするか（57ページ）、パソコンで不要なフォルダを消去する。

This memory card may not be able to record or play movies.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください（27ページ）。

This memory card may not be able to record or play images correctly.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください（27ページ）。
- ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

Do not eject the memory card during writing. Data may be damaged.

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

External media cannot execute functions.

- MENU（メニュー）→［Rec/Media SET］→［Repair Img. DB F.］→記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。
- それでも表示される場合は、外付けメディアを接続し直したあと、フォーマットしてください。フォーマットすると、外付けメディアに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- フォーマットに失敗する場合は、本機で対応していない外付けメディアか、もしくは外付けメディアが壊れている可能性があるので交換してください。

Unable to access external media.

- 安定した状態（振動もなく、外付けメディアが室温となる環境など）にしてご使用ください。
- 外付けメディアの電源が抜けていないか確認してください。

その他

Maximum number of images already selected.

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
  - 画像の削除
  - 画像のプロテクト、解除
  - 画像のコピー

Data protected.

- プロテクトされた動画・静止画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

記録時間・枚数について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-FV70（付属）	205	110
	215	120
NP-FV100	405	220
	430	235

- 上段：液晶画面を開いているとき
  下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用するとき
- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
  - ハイビジョン画質（HD）で［ REC Mode］は［FX］
  - XLRアダプター装着、付属マイク使用時
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、MODEランプの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10℃～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	
NP-FV70（付属）	395
NP-FV100	785

- 液晶画面を開いているとき
- ハイビジョン（HD）画質のとき

動画の撮影可能時間の目安

内蔵記録メディア

ハイビジョン画質（HD）のとき

録画モード	録画時間（最低録画時間）
[60p Quality PS]	7時間30分（7時間30分）
	8時間（8時間）
[Highest Quality FX]	8時間50分（8時間50分）
	9時間25分（9時間25分）
[High Quality FH]	11時間45分（11時間45分）
	12時間55分（12時間55分）
[Standard HQ]	19時間30分（15時間20分）
	22時間50分（17時間15分）
[Long Time LP]	30時間50分（26時間35分）
	40時間5分（32時間45分）

- ［HD Audio Format］が次の設定のとき
  上段：リニアPCM方式
  下段：ドルビーデジタル方式

標準画質（STD）のとき

録画モード	録画時間（最低録画時間）
[Standard HQ]	23時間55分（21時間55分）

ご注意

- （　）内は最低録画時間です。

ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質（HD）で最大3,999個、標準画質（STD）で9,999個です。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。

メモリーカード

ハイビジョン画質（HD）のとき

（単位：分）

	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
60p Quality PS	8 (8)	15 (15)	35 (35)	70 (70)	145 (145)
	9 (9)	15 (15)	35 (35)	75 (75)	150 (150)
Highest Quality FX	10 (10)	20 (20)	40 (40)	80 (80)	170 (170)
	10 (10)	20 (20)	40 (40)	90 (90)	180 (180)
High Quality FH	10 (10)	25 (25)	55 (55)	110 (110)	225 (225)
	10 (10)	30 (30)	60 (60)	120 (120)	245 (245)
Standard HQ	20 (15)	45 (35)	90 (70)	185 (145)	375 (295)
	25 (15)	50 (40)	105 (80)	215 (165)	440 (330)
Long Time LP	35 (30)	70 (60)	145 (125)	295 (255)	590 (510)
	45 (35)	90 (75)	190 (155)	380 (310)	770 (630)

- ［HD Audio Format］が次の設定のとき
  上段：リニアPCM方式
  下段：ドルビーデジタル方式

標準画質（STD）のとき

（単位：分）

	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
Standard HQ	25 (25)	55 (50)	110 (100)	225 (210)	460 (420)

ご注意

- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、［Frame Rate］（56ページ）と［REC Mode］（56ページ）によっても変わります。
- （　）内は最低録画時間です。

静止画の撮影可能枚数の目安

内蔵記録メディア

最大40,000枚撮影できます。

メモリーカード

	16:9 12.3M
2GB	360
4GB	720
8GB	1450
16GB	2900
32GB	5900

- （静止画）ランプが点灯しているときの画像サイズです。
- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶画面上でご確認ください（127ページ）。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

ご注意

- ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

ちょっと一言

- 各録画モードのビットレート（動画＋音声など）、画素数およびアスペクト比は、次のとおりです。
  – ハイビジョン画質（HD）：
  PS：最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
  FX：最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9
  FH：約17Mbps（平均）
  1,920×1,080画素/16:9
  HQ：約 9Mbps（平均）
  1,440×1,080画素/16:9
  LP：約 5Mbps（平均）
  1,440×1,080画素/16:9
  – 標準画質（STD）：

HQ：約 9Mbps（平均）720×480画素/ 16:9、
4:3

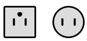
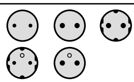
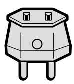
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
  – 静止画撮影モード：
  4,672×2,628ドット/ 16:9
  3,504×2,628ドット/4:3
  2,112×1,584ドット/4:3
  640×480ドット/ 4:3
  – デュアル記録：
  4,672×2,628ドット/16:9
  3,504×2,628ドット/ 4:3
  – 動画から静止画作成：
  1,920×1,080ドット/16:9
  640×360ドット/ 16:9
  640×480ドット/ 4:3

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V ～ 240V、50Hz/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。
ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

ハイビジョン画質（HD）で見るには

ハイビジョン画質（HD）で記録した画像をハイビジョン画質（HD）で見るには、ハイビジョン対応のテレビ（またはモニター）とコンポーネントA/Vケーブル（付属）またはHDMIケーブル（別売）が必要です。
本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）」を参照してください。

標準画質（STD）で見るには

標準画質（STD）で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

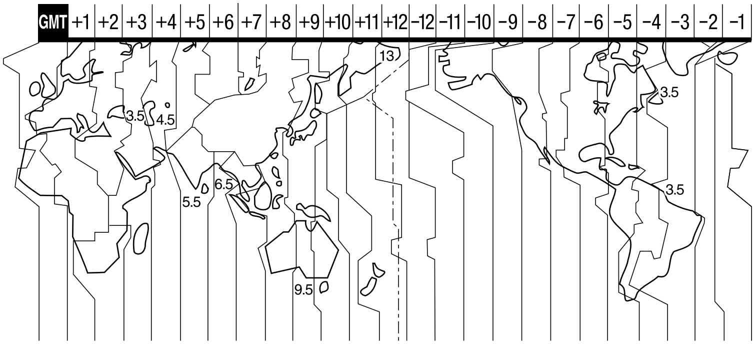
テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、MENU（メニュー）→[Setup]→[⏻(Clock Settings)]→[Date & Time Setting]→[Summer Time]と、MENU（メニュー）→[Setup]→[⏻(Clock Settings)]→[Area Setting]を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（98ページ）。

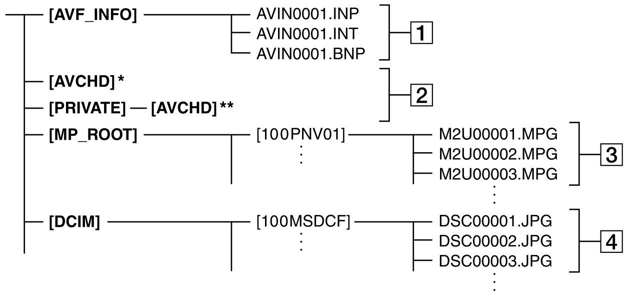
世界時刻表



その他

記録メディアのファイル/フォルダー構成

本機の記録メディア上のファイル/フォルダー構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* “メモリースティック PRO デュオ”

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

1 画像管理用ファイル
削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。
隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 HD動画管理情報フォルダー
本フォルダー以下にハイビジョン画質(HD)の動画用の記録データが保存されます。パソコンから本フォルダーや、本フォルダー内のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

3 STD動画ファイル(MPEG-2ファイル)
拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。フォルダー内のファイル数が4000を超える場合、またはファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダーが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。
フォルダー名は、「100PNV01」→「101PNV01」のように繰り上がります。

4 静止画ファイル(JPEGファイル)
拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。フォルダー内のファイル数が4000を超える場合、またはファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダーが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。
フォルダー名は、「100MSDCF」→「101MSDCF」のように繰り上がります。

- パソコンから本機のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- パソコンから本機の記録メディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、59ページの手順で行ってください。パソコンから本機の記録メディア内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機の記録メディアをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機の記録メディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 記録メディアのデータをパソコンに取り込むには、付属のソフトウエア「Content Management Utility」をご使用ください。

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD(ハイビジョン)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがありますが故障ではありません。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD(ハイビジョン)記録ができます。

また、AVCHD規格でのHD(ハイビジョン)記録に加え、従来からのMPEG-2規格でSTD(標準)記録することもできます。

映像*:MPEG-4 AVC/H.264 1920×1080/60i、1440×1080/60i、1920×1080/24p

音声:リニアPCM 2ch/ドルビーデジタル2ch

記録メディア:

内蔵メモリー、メモリーカード

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

GPSについて

GPS(Global Positioning System)とは、米国の高精度な航法衛星を利用した地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報(アルマナックデータ)と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星は3機以上受信できれば、緯度、経度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、位置情報を記録できないことがあります。
  - トンネルの中・屋内やビルの陰
  - 高層ビルの間・建物の間の狭い道路
  - 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
  - 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合

誤差について

- 本機の電源を入れた直後に移動すると、移動しなかった場合にくらべて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS衛星自体による誤差
  本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位

する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差
本機では測位中に位置情報を定期的に取得しています。位置情報の取得と画像への書き込みに若干の時間差があるため、実際に画像を撮影した位置と地図上の位置が異なる場合があります。

規制について

- 使用する国や地域、またご利用になる場所の規制に従ってGPSをお使いください。

測地系について

- 本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

メモリーカードについて

- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）したメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み・書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
  - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中（ACCESSランプが点灯中および点滅中）に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと、正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格 “Design rule for Camera File system” に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、本機でフォーマットをしてください（57ページ）。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録・再生
“メモリースティック デュオ”（マジックゲート対応）	—
“メモリースティック PRO デュオ”（Mark2）	○
“メモリースティック PRO-HG デュオ”	○

- 本機はパラレルデータ転送に対応しております。ただしお使いのメディアによって転送速度は異なります。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Vシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリー Vシリーズには InfoLITHIUM V マークがついています。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

- “インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
- “インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。
- バッテリー NP-FV70は、“ActiFORCE”に対応しています。
  “ActiFORCE”とは、当社従来の“インフォリチウム”バッテリー Pシリーズ電源システムと比較して高容量、急速充電、バッテリー残量計算精度・スピードを改善した、次世代電源システムの機能名称です。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、CHG（充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FV100」（別売）を使う
- 液晶パネルの使用や再生・早送り・早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FV100」（別売）のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、本機の電源を入れて、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

- 結露が起きたときは
  電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。
- 結露が起こりやすいのは
  次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
  - スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
  - 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
  - スコールや夏の夕立の後
  - 温泉など高温多湿の場所
- 結露を起こりにくくするために
  本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押すと、画面にムラが出ることがあります。また、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

液晶画面のお手入れ

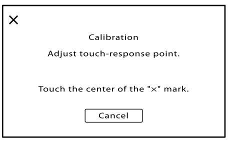
- 液晶画面の表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれ

ることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブロワーなどであらかじめ払い落としてください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。

タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

① MENU(メニュー) → [Setup] → [(General Settings)] → [Calibration]をタッチする。



② メモリーカードの角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを3回タッチする。
解除するには[Cancel]をタッチする。

ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つけるおそれがあります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。
充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にして24時間以上放置する。

本機の廃棄・譲渡に関するご注意

[Delete]や[Format]を行っても、本機の内蔵記録メディア内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは、[Empty](58ページ)を行って、内蔵記録メディア内のデータの復元を困難にすることをおすす

めします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「Format」や「Delete」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

信号方式

NTSCカラー、EIA標準方式

HDTV 1080/60i、1080/60p方式

ビデオ記録方式
HD画質：MPEG-4 AVC/H.264
AVCHD規格準拠（1080/60p：独自規格）
STD画質：MPEG-2 PS

音声記録方式
リニアPCM 2ch（48kHz 16bit）
Dolby Digital 2ch（48kHz16bit）
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

静止画ファイルフォーマット
：DCF Ver2.0準拠
：Exif Ver2.3準拠
：MPF Baseline準拠

記録メディア（動画・静止画）：96GB
内蔵メモリー
"メモリースティック PRO デュオ"
SDカード（Class4以上）

容量は、1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用いただけるユーザー容量は、約96GBです。

ファインダー：電子ファインダー：カラー
画面サイズ：1.1cm（0.45型、アスペクト比16：9）
総ドット数：1 226 880ドット相当
（852×3［RGB］×480）

撮像素子：6.2 mm（1/2.88型）CMOSセンサー
記録画素数：静止画時 最大1 230万画素相当*1
（4 672×2 628）（16：9時）
総画素数：約665万画素
動画時有効画素数*2（16：9）：約614万画素
静止画時有効画素数（16：9）：約614万画素
静止画時有効画素数（4：3）：約460万画素

ズームレンズ：Gレンズ
10倍（光学）*2、14倍（エクステンデッド）*3、120倍（デジタル）
フィルター径：37 mm
F1.8 ～ 3.4
f=3.8 ～ 38.0 mm
35mmカメラ換算では
動画撮影時*2：
26.3 ～ 263 mm（16：9）
静止画撮影時：
26.3 ～ 263 mm（16：9）

色温度切り換え：[Auto]、[One Push]、[Indoor]（3 200 K）、[Outdoor]（5 800 K）

最低被写体照度：
11 lx（ルクス）（お買い上げ時、[Shutter Speed] 1/60秒）
3 lx（ルクス）（Low Lux時、[Shutter Speed] 1/30秒）
0 lx（ルクス）（Nightshot時）

*1 ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。
*2 [SteadyShot]補正が[Standard]、または[Off]のとき
*3 [SteadyShot]補正が[Active]のとき

入/出力端子

A/Vリモート端子：コンポーネント、映像音声出力兼用端子
コンポーネント出力：
Y： 1 Vp-p、75 Ω
P_B/P_R, C_B/C_R：0.7 Vp-p、75 Ω
映像出力：
1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
音声出力：
-10 dBu（47 kΩ負荷時）
出力インピーダンス2.2 kΩ以下
（0 dBu=0.775 Vrms）

リモート端子：ステレオミニミニジャック（Φ2.5 mm）

HDMI OUT端子：HDMIミニコネクタ

USB端子：mini-AB（出力限定）

ヘッドホン端子：ステレオミニジャック（ϕ3.5 mm）

MIC入力端子：ステレオミニジャック（ϕ3.5 mm）

INPUT1/INPUT2端子：XLR型3ピン、凹
MIC：-60/-50/-40 dBu、3 kΩ
LINE：+4 dBu、10 kΩ
(0 dBu=0.775 Vrms)

液晶画面

画面サイズ：8.8 cm（3.5型、アスペクト比16：9）

総ドット数：921 600ドット
横1920×縦480

電源部、その他

電源電圧：バッテリー端子入力 6.8 V
ACアダプター 8.4 V

消費電力：
マイク（ECM-XM1）、ファインダー使用時、明るさ標準：3.6W
マイク（ECM-XM1）、液晶画面使用時、明るさ標準：3.8W

動作温度：0 ℃～ 40 ℃

保存温度：－20 ℃～ +60 ℃

外形寸法：
111.5 × 119.5 × 297.5 mm
（突起部、レンズカバー付きフード、大型アイカップを含む。グリップベルトを含まず。）（幅×高さ×奥行き）
135 × 174 × 384.5 mm
（突起部、レンズカバー付きフード、大型アイカップ、XLRアダプター、マイク（ECM-XM1）を含む。グリップベルトを含まず。）（幅×高さ×奥行き）

本体質量：
約840 g（レンズカバー付きフード、大型アイカップを含む）

撮影時総質量：
約1285 g（レンズカバー付きフード、大型アイカップ、バッテリー (NP-FV70)、XLRアダプター、マイク（ECM-XM1）を含む）

ACアダプター　AC-L200C/AC-L200D

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力：18 W

定格出力：DC 8.4 V*

動作温度：0 ℃～ 40 ℃

保存温度：－20 ℃～ +60 ℃

外形寸法：約 48×29×81 mm（最大突起部を除く）（幅×高さ×奥行き）

質量：約170 g（本体のみ）

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70

最大電圧：DC 8.4 V

公称電圧：DC 6.8 V

容量：
公称容量：14.0 Wh（2 060 mAh）
定格（最小）容量：13 Wh（1 960 mAh）

使用電池：Li-ion

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

商標について

- "NXCAM"ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"マジックゲート"、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- DVDirectはソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™及びBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また「プレイステーション」は同社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- NAVTEQおよびNAVTEQ Mapsロゴは、NAVTEQの米国およびその他の国における商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

（i）消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

（ii）AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license3.pdf」をご覧ください。「C Library」、「zlib」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名NEX-FS100をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

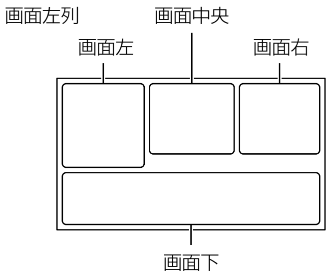
部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

画面表示



画面左

表示	意味
MENU	メニューボタン(76)
AUTO AUTO OFF	マイボタン(33)
	セルフタイマー(84)
	GPS測位状況(46)
OFF	顔検出切(87)
OFF	スマイル検出切(87)
OFF ACT	手ブレ補正(85)
	コンバージョンレンズ(85)
70	ゼブラ(88)
PEAKING	ピーキング(89)
	おまかせオート(顔認識/シーン認識/手ブレ検出)(84)
Multi ch	複数チャンネル音声(105)

画面中央

表示	意味
[STBY]/[REC]	撮影状態(31)
	スライドショー設定
	NightShot(45)
	警告(107)
	再生表示(36)

画面右

表示	意味
4:3	STD Wide Rec(91)
HD 60i HQ	記録画質(HD/STD)(56)/フレームレート(60p/60i/24p)(56)/録画モード(PS/FX/FH/HQ/LP)(56)
00h00m	バッテリー残量の目安
	記録/再生/編集メディア(26)
	外付けメディア接続中(66)
00:00:00.00	タイムコード(時:分:秒:フレーム)/ユーザービット(47)
00h00m	記録残量時間の目安
12.3M 9.2M 3.3M VGA	静止画サイズ(91)
9999 → 9999 →	およその静止画撮影可能枚数と静止画サイズ
101 ▸	メモリーカードの再生フォルダ
100/112	再生中の動画・静止画の番号/記録している動画・静止画の数(36)

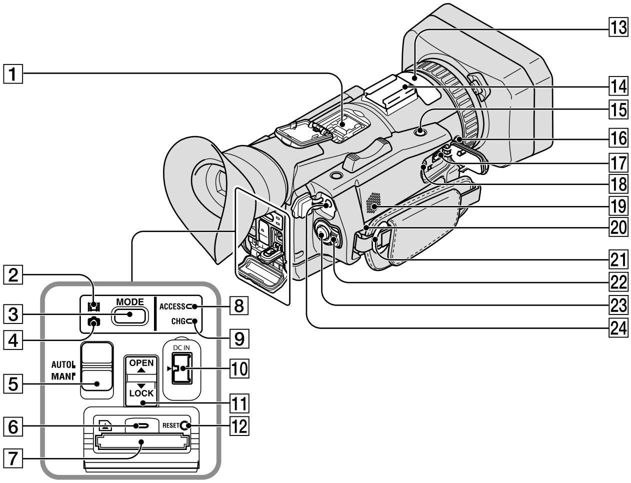
画面下

表示	意味
	画像再生ボタン（34）
	風音低減（88）
CH1 CH2	音声レベル表示（90）
	Low Lux（83）
EV	AEシフト（83）
WS	ホワイトバランスシフト（83）
T	テレマクロ（84）
CINEMA	シネマトーン（84）
10000	シャッタースピード（83）
F1.8	絞り（49）
	ホワイトバランス（51）
	スライドショーボタン
101-0005	データファイル名（37）
	プロテクト（60）
	ヒストグラム（47）
HD ♪LPCM	録音フォーマット（87）
9dB	ゲイン（50）
	マニュアルリングズーム（42）
	手動フォーカス（83）

- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。

各部のなまえ

(　)内は参照ページです。



1 アクティブインターフェースシュー
Active Interface Shoe(12)

2 (動画)ランプ(31)

3 MODEボタン(31、32)

4 (静止画)ランプ(32)

5 AUTO/MANUALスイッチ(49)

6 メモリーカードACCESSランプ(28)

7 メモリーカードスロット(28)

8 ACCESSランプ(28)

9 CHG(充電)ランプ(16)

10 DC IN端子(16)

11 OPEN/LOCKつまみ(27)

12 RESET(リセット)ボタン
RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。

13 内蔵マイク(52)

14 アクセサリーシュー(12)

15 IRIS PUSH AUTOボタン(50)

16 NIGHTSHOTボタン(45)

17 A/Vリモート端子(38)

18 REMOTE端子
REMOTE 端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。

19 スピーカー

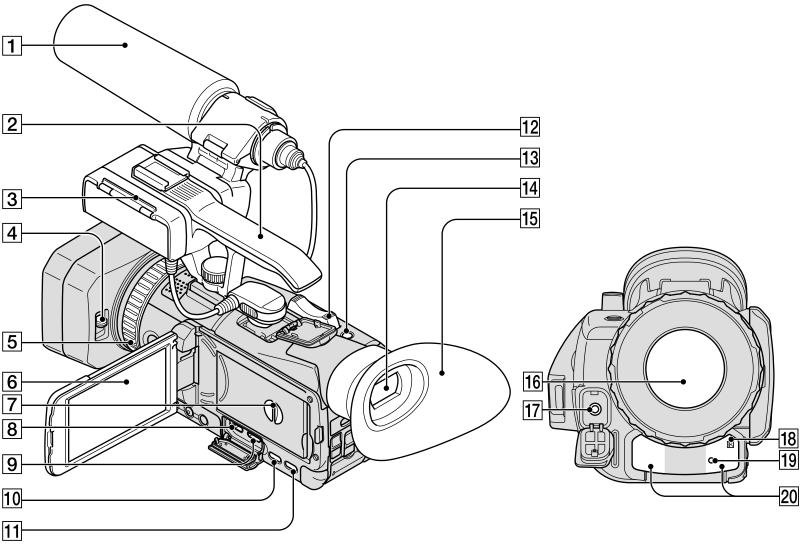
20 排出口(7)

21 ショルダーベルト取り付け金具

22 POWERスイッチ(16)

23 START/STOPボタン(31)

24 (ヘッドホン)端子
ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。



1 マイク（13）

2 ハンドル

3 XLRアダプター（12）

4 レンズカバーレバー（15）

5 マニュアルリング（42）

6 液晶画面/タッチパネル（16、47）

7 バッテリーカバー（16）

8 (USB)端子（66）

9 HDMI OUT端子（38）

10 DISPLAYボタン（23）

11 ▶（画像再生）ボタン（34）

12 ズームレバー（42）

13 PHOTOボタン（32）

14 ファインダー（24）

15 大型アイカップ（24）

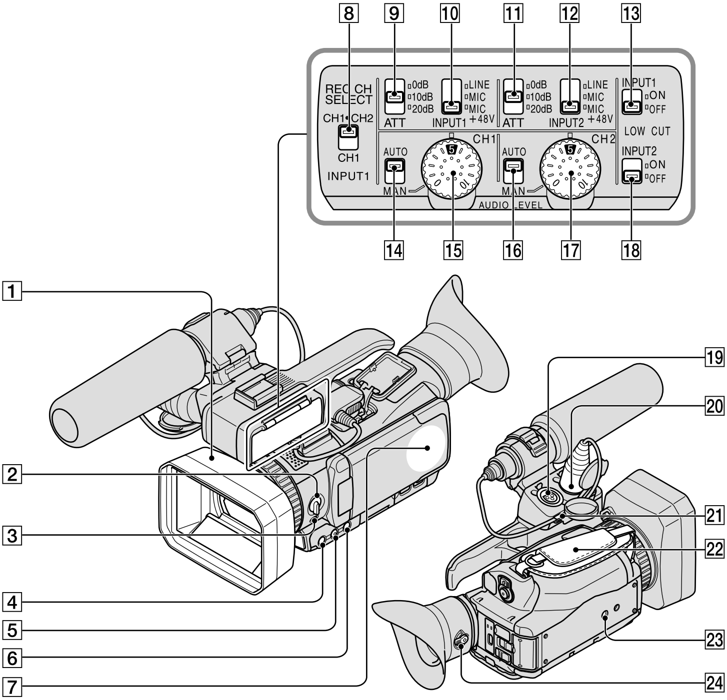
16 レンズ（Gレンズ搭載）

17 MIC入力端子（53）

18 リモコン受光部
リモコン（132ページ）は、リモコン受光部に向けて操作します。

19 録画ランプ（31）
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

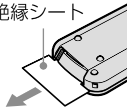
20 赤外線発光部（45）

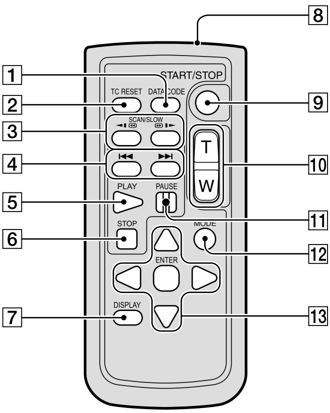


1 レンズカバー付きフード(14)
2 ZOOM/FOCUS/IRISスイッチ(42、43、49)
3 FOCUSボタン(43)
4 IRISボタン(49)
5 EXPANDED FOCUSボタン(44)
6 HISTOGRAMボタン(47)
7 GPSアンテナ部(46)
8 REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ(54)
9 ATT(INPUT1)スイッチ(53)
10 INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(53)
11 ATT(INPUT2)スイッチ(53)
12 INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(53)
13 LOW CUT(INPUT1)スイッチ(54)
14 AUTO/MAN(CH1)スイッチ(54)
15 AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル(54)
16 AUTO/MAN(CH2)スイッチ(54)
17 AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル(54)
18 LOW CUT(INPUT2)スイッチ(54)
19 INPUT2端子(53)
20 INPUT1端子(53)
21 ケーブルホルダー(14)
22 グリップベルト(30)
23 三脚用ネジ穴
三脚(別売、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴に取り付けます。
24 視度調整つまみ(24)

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。





1 DATA CODEボタン（94）

2 TC RESETボタン（48）

3 SCAN/SLOWボタン（36）

4 ⏮ ⏭（PREV/NEXT）ボタン（36）

5 PLAYボタン

6 STOPボタン

7 DISPLAYボタン（23）

8 リモコン発光部

9 START/STOPボタン（31）

10 ズームボタン

11 PAUSEボタン

12 MODEボタン（31）
再生モードに切り替わります。

13 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ / ENTERボタン

ご注意

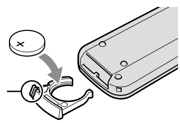
- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。

② +面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

索引

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4273939020